

# 令和4年度大和市文化創造拠点等 指定管理者事業報告概要及び評価

# 令和4年度大和市文化創造拠点等指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

施設名	大和市文化創造拠点等（大和市文化創造拠点、大和市立中央林間図書館、大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター、大和市つきみ野学習センター、大和市桜丘学習センター、大和市立渋谷学習センター及び大和市立渋谷図書館）
指定管理者	やまとみらい
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

## 1. 事業報告概要

### 【業務実施状況】

- ・運営組織に関すること

#### (1) 組織体制

大和市文化創造拠点を中心とする7つの施設を運営するにあたり、各施設の設置目的・理念・コンセプトを十分に理解し、大和市の市政運営の最も重要なテーマである「健康都市やまと」の発展にも貢献したいと考えました。そのために、共同事業体構成企業それぞれが持つ高度な専門性と6年間で培った実績を活かし、7つの施設を「統一した理念に基づき融合したひとつの施設」として、運営してまいりました。各施設の指定管理業務の運営体制は以下のとおりです。

施設名		共同事業体運営企業
大和市 文化創造拠点	やまと芸術文化ホール	サントリーパブリシティサービス株式会社
	大和市立図書館	株式会社図書館流通センター
	大和市生涯学習センター	株式会社小学館集英社プロダクション
	大和市屋内こども広場	株式会社明日香 株式会社ポーネルド
	維持管理 ※中央林間図書館・渋谷図書館・渋谷学習センター除く全施設	横浜ビルシステム株式会社
大和市立中央林間図書館	株式会社図書館流通センター	
大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター	株式会社小学館集英社プロダクション	
大和市つきみ野学習センター	株式会社小学館集英社プロダクション	
※つきみ野学習センター図書室	株式会社図書館流通センター	
大和市桜丘学習センター	株式会社小学館集英社プロダクション	
※桜丘学習センター図書室	株式会社図書館流通センター	

大和市立渋谷学習センター	株式会社小学館集英社プロダクション
大和市立渋谷図書館	株式会社図書館流通センター

「やまとみらい」の管理運営に関する意思決定機関は、統括責任者と各施設館長・所長による「館長会議」とし、主宰は「やまとみらい統括責任者」が務めました。日常からの情報共有の場を設け、緊密に連携することでよりよい施設運営を目指しました。また、共同事業体本社と現場との運営状況共有の場として「やまとみらいJV会議」を開催しました。主催は代表企業である「図書館流通センター」が務めました。

大和市との連絡調整機関としては、市の各所管課長とやまとみらい統括責任者、各館長・所長が出席する「文化創造拠点等連絡調整会議」を月1回開催するとともに、日頃から図書・学び交流課長とやまとみらい統括責任者の間で情報の交換・共有を行うことで、大和市とやまとみらいの意思疎通を図り、円滑な管理運営に努めました。

また、運営に関する具体的な検討を行うため、館長会議に4つの専門委員会を設置し、適切な管理運営とサービス向上に努めました。専門委員会は、以下のとおりです。

委員会名	担当構成企業
安全向上委員会	横浜ビルシステム株式会社
セルフモニタリング委員会	株式会社小学館集英社プロダクション
広報・事業企画検討委員会	株式会社図書館流通センター サントリーパブリシティサービス株式会社
情報管理委員会	株式会社明日香

## (2) 基本的な考え方

<p>人・地域・文化を育む</p> <p>「健康都市やまと」の実現と、文化創造拠点を中心に展開する</p> <p>「図書館城下町 大和市」の発展に貢献します</p>
--

大和市が提唱する「健康都市やまと」は、幸せな生活のために誰もが願う「健康」、さらに人だけでなく、人の暮らしを支える「まち」、人と人をつなぐ「社会」を加えた3つの視点から捉え推進していくことで、住みたい、住み続けたいまちであり続けることを目指すものであると考えます。

私たちやまとみらいは、「健康都市やまと総合計画」の推進のために文化施設が果たすべき役割を自覚し、文化創造拠点等の運営を通して選ばれるまちづくりに貢献するため、基本方針と4つの行動指針を定めました。

やまとみらい基本方針	「人・地域・文化を育む」
行動指針①	「すべての人の居場所としての施設づくり」
行動指針②	「地域とのつながりの強化」
行動指針③	「『市民が主役』をサポートする」
行動指針④	「安全・安心・安定的な施設運営」

地域は最も身近なコミュニティであり、「まちの健康」「社会の健康」の土台となるものです。令和4年度は「行動指針② 地域とのつながりを強化」を具現化するため、市内自治会との連携を模索する会議を設けました。会議の間では、やまとみらいが管理運営する施設の事業をはじめ、様々な場面での連携の可能性を見出すことができました。令和5年度は具体的な連携事業に取り組んでまいります。

大和市文化創造拠点を中心とする7つの施設の一体的な管理運営がもたらす意義を形にするため、やまとみらいまつりやテーマ融合企画などさまざまな事業を実施、さらに接遇品質のさらなる向上と、やまとみらいスタッフのあるべき姿を明確にするために研修プログラムの再構築を図りました。

また、大和市の重要施策である「図書館城下町 大和市」の目指す、市内全域における読書環境の充実を推し進めるため、令和4年度からやまとみらいスローガンを『絵本がつなぐ 地域のきずな』と定め、事業を実施しています。令和5年度も継続して図書館を中心にやまとみらい全7施設で取り組んでまいります。

さらに、魅力的な文化のあふれる大和市を実現するため、引き続き各企業が持つ高度な専門性、運営スキルを最大限活用し、大和市に暮らすすべての方が誇れる居場所（誰もが気軽に立ち寄り、交流を深め、創造や感動を生み出し発信する）づくりを実現してまいります。

### (3) 職員の育成

#### ① 基本方針

やまとみらいの職員育成の基本方針は来館者満足度を更に向上させることです。そのための方策として、セルフモニタリング委員会において実施する来館者アンケートの結果を活用するとともに、覆面調査方法によるサービス診断を実施し、接遇における課題を抽出、改善のための研修プログラムを組みました。さらに、サービス診断の結果みえてきた課題に直結した、より具体的な行動指針（サービスの指針）をやまとみらい全職員に示すため「クレド」を改定、「お客様対応の3つのモットー」を追加しました。令和5年度は、研修プログラムの本格稼働、改訂版クレドの浸透策の実施により、さらなるサービス品質の向上に努めます。

研修は、コンプライアンス研修や緊急時対応研修など全員が共通のスキルを学ぶ「共通研修」、各施設の業務に即した専門知識を学ぶ「施設別研修」の2本柱で進めました。

#### ② 研修内容

##### 1) 共通研修

項目	内容	対象
新人研修	文化創造拠点等の一員としての意識と他施設に関する基礎知識を身に着け、文化創造拠点等のロイヤリティを高める	新人職員

接遇品質向上研修	モニタリングアンケートの結果を踏まえた研修	各施設選抜
施設概要研修	各施設相互の役割・機能を理解する	全員
<p>&lt;令和5年度本格実施に向け準備&gt;新人研修・接遇品質向上研修・施設概要研修は「受入研修」として研修体系を再構築。研修プログラムを策定するにあたり、サービス品質を診断するための覆面調査を実施し、その結果をうけてクレドの改訂も行った。研修プログラム完成後、シリウス各施設の館長・副館長が研修の講師を務めることができるよう、講師育成研修を実施した。</p>		
コンプライアンス研修	公共施設職員としての心得、著作権など	全員
<p>&lt;計画どおり実施&gt;7月にコンプライアンスの定義やリスクマネジメントなど、基本的な内容に特化した「コンプライアンス研修」を、1月は個人情報保護に関する理解浸透を目的とした「個人情報取り扱い研修」を全職員対象にWEB研修にて実施。</p>		
緊急時対応研修	避難訓練（法令の規定回数）、不審者対応など	各施設選抜
<p>&lt;計画どおり実施&gt;防災訓練：シリウス/北部文化・スポーツ・子育てセンター/桜丘学習センターの3施設について、各年2回実施。つきみ野学習センターは大規模修繕工事のための休館により中止。中央林間図書館は東急スクエア消防訓練に年2回全職員が参加。渋谷図書館/渋谷学習センターはIKOZA消防訓練に年2回参加。不審者対応研修：シリウスにてやまとみらい全職員を対象に受講希望を募り、20名が参加。講師は大和警察署生活安全課。渋谷図書館/渋谷学習センター合同にて、また北部文化・スポーツ・子育てセンターにおいても同様の研修を実施。</p>		
救急救命講習	心肺蘇生（AED）の習得、傷病者手当	未受講者
<p>&lt;計画どおり実施&gt;シリウスにて11月、AED研修を実施。やまとみらい全職員を対象に受講希望を募り30名が参加。講師は大和市消防本部救急救命課。同時に傷病者手当訓練を実施予定だったが、時間が足りず中止した。渋谷図書館/渋谷学習センター合同にて、また北部文化・スポーツ・子育てセンターにおいても同様の研修を実施。</p>		

## 2) 施設別研修

### ア) 芸術文化ホール

項目	内容
全体研修	事業、運営、広報の各グループの活動方針・計画などを策定・共有し、運営上の諸問題を解決する。
<p>&lt;計画どおり実施&gt;活動方針や活動進捗などは研修時に全員へ共有した。特にコロナ対応等の運営上の諸問題は研修時に議論するなど取り組みを進めた。</p>	
受付研修	ホールの受付職員としてのスキル・接遇品質を高める
<p>&lt;計画どおり実施&gt;受付職員を対象とした研修。専門スキル、接遇マインド育成を目的としたレセプション研修やプライオリティゲストに関する研修を実施。また、お客様対応等の事例共有、研究等を行った。</p>	
他館研究	自社の運営する他ホールの接遇スキルや運営ノウハウの知見を得る
<p>&lt;計画どおり実施&gt;WEB会議に参加し、各館での取り組み、運営ノウハウ等の情</p>	

報収集を実施。また、全国公文協の全国大会（山形）に参加し、他館の職員との意見交換等も行った。

イ) 図書館

項目	内容
新人研修	図書館で働く心構え、接客マナー、レファレンスや著作権など、基礎について学ぶ
<計画どおり実施>本社研修（eラーニング）として実施。	
新任責任者研修	責任者としての役割や心構え、また労務管理や収支管理などについて学ぶ
<計画どおり実施>本社研修（eラーニング）として実施。上述の内容に加え、ハラスメント研修、個人情報保護研修などを受講した。	
テーマ別研修	レファレンスや選書、児童サービス、広報など幅広いテーマから選んで受講し、スキルの向上を目指す
<計画どおり実施>本社研修（eラーニング）として実施。図書館員としての専門知識の習得をはじめ、傾聴やビジネスマナー、アンガーマネジメントなど幅広いテーマから選択し、全スタッフが1講座以上を受講した。	
<p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシーマーク研修（全職員）</li> <li>・神奈川県図書館協会、県立図書館、県央地区図書館連絡協議会主催の諸研修（選抜職員）「絵本に願いをこめて」「おはなし会のであそび・わらべうた」「資料のデジタル化」ほか、県立図書館や小田原市立図書館など新館の見学にも参加した。</li> <li>・国連寄託図書館研修会（館長） 国連寄託図書館間での情報共有や世界情勢等への対応について。</li> <li>・ハラスメント研修（渋谷図書館全スタッフ参加）</li> <li>・著作権セミナー（文化庁による Web 講習会）</li> <li>・その他、他自治体の図書館イベント見学、医療情報関連の研修等にも積極的に参加した。</li> </ul>	

ウ) 学習センター

項目	内容
新入社員研修	学習センターで働くうえで必要な知識、接客マナー、個人情報の取り扱い等を学ぶ。
<計画どおり実施>新規入社した職員に対し、市内学習センターで働くうえでの研修を生涯学習センターで実施し各施設へ配属。また本社にて新入社員研修を受講した。	
マネジメント研修	施設毎のマネージャークラス職員を集め、課題を共有、マネジメントのノウハウを学ぶことで健全な組織運営手法を学ぶ。
<計画どおり実施>本社研修として実施（各館長）	
安全担当者研修	施設毎に選定した安全担当者を集めた、課題の共有と目標の設定をし、組織の安全意識を高める。
<計画どおり実施>情報交換と各施設での安全対策、クレーム対応について研修した。年2回実施。（担当者）	

全国企画担当者会議	講座イベント等企画に関する情報共有と効果的な企画書の作り方について学ぶ。優良講座の事例発表。
<計画どおり実施>本社研修として実施。(担当者)	
社会教育研修	社会教育についてと同時に大和市における社会教育の考え、団体登録について学ぶ。
<計画どおり実施>各学習センター職員を対象に、ポラリスにて実施。	
大和市生涯学習施設職員研修	学習センターの使命と役割について学び、学習センターの課題について話し合う。
<計画どおり実施>各学習センター職員を対象に、生涯学習センター、ポラリスで実施。	
公民館研修	公民館職員としての知識を得る研修。
<計画どおり実施>県公連研修として、eラーニングを利用して受講。	
クレーム対応研修	顧客心理とクレーム対応について学ぶ。
<計画どおり実施>本社研修としてオンラインで実施。	
ヒューマンエラー対策	ヒューマンエラーの基本と対策の概念、防止法について学ぶ。
<計画どおり実施>本社研修としてオンラインで実施。	
コミュニケーションセミナー	相手に伝わる説明の手法について学ぶ。
<計画どおり実施>生涯学習センターにて実施。	
個人情報保護研修	個人情報の種類と取り扱いを学ぶ。
<計画どおり実施>eラーニングを利用して全職員が受講。	
コンプライアンス研修	機密情報や個人情報が漏洩するメカニズムなどを知り、コンプライアンス違反が起こらない環境作りについて学ぶ。
<計画どおり実施>eラーニングを利用して全職員が受講。	
防災館研修	地震体験など災害時の対応方法を学んだ。
<計画どおり実施>本社研修として、東京都の防災館にて実施。	
MFA研修 (応急救護研修)	応急救護の方法とAEDの操作方法について学ぶ。
<計画どおり実施>本社研修として実施。	

エ)屋内こども広場

項目	内容
プレイリーダー研修	プレイリード技術・接遇品質を高める
	<計画どおり実施>げんきっこ広場内に常駐するプレイリーダーの接遇品質向上を目的とした研修を実施。令和4年度から新たにポーネルド直営店での実地研修を取り入れ、異なる環境に身を置くことで、新たな価値観や接客手法などの習得を目指し接遇向上に努めた。
神奈川県子育て支援員研修	子育て支援に必要な知識や技能等を修得する
	<計画どおり実施>屋内こども広場に在籍する全ての職員を対象に、子育て支援への理解を深め業務に携われるよう、神奈川県主催の子育て支援員研修に参加した。

オ)施設維持管理

項目	内容
清掃従事者研修	清掃に関する知識・マナー・スキルを高める
	<計画どおり実施>新しく配属になった清掃職員対象に清掃道具や清掃の仕方と挨拶等の研修を実施した。講師は弊社清掃指導員。
防災センター従事者研修	警察・消防0Bによる指導で安全安心の意識を高める
	<計画どおり実施>講師は弊社指導員。5/24・25実施。利用者に対して安全に利用できるように不審者・消防設備点検等を研修した。
ユニバーサルマナー研修	全ての人が心地よく過ごせるためのマナーを学ぶ
	<未実施>コロナ下のため、中止した。

(4) 個人情報の保護及び情報公開

① 個人情報の保護

1) 基本方針

個人情報保護法 第20条に基づき、日常業務に取り組み、自治体から運営を受託する指定管理者制度では、法律として民間企業に義務付けられた「個人情報保護法」、大和市が定める「大和市個人情報保護条例」の2つを遵守し、やまとみらいで作成した「個人情報保護マニュアル」に基づき、適切に管理してまいりました。

2) 管理体制

個人情報管理体制は「情報管理委員会」を協議機関とし、総括責任者をやまとみらい統括責任者が、管理責任者を各館長及び所長が担い、四半期ごとに大和市へ状況報告を行いました。

3) 研修の実施



個人情報保護に関する理解浸透を目的に、全職員を対象とした「個人情報取り扱い研修」及び確認テストを年1回実施しました。

② 情報公開について

「大和市情報公開条例」に基づき、公正で開かれた施設の実現を図り、本施設に対する市民の理解を深めることで、市民と本施設との信頼関係を一層増進することを目指し業務に臨んでまいりました。個人情報や第三者情報については、情報公開の趣旨を理解した上、情報の公開と保護を適正に行い、情報公開請求に対応するとしておりますが、令和4年度情報公開請求件数は0件でした。

(5) セルフモニタリング

<パフォーマンス指標> 令和4年4月1日～令和5年3月31日

項 目		目標値	実績	総 括
1. シリウス全館の取り組み				
(1) 年間来館者数		2,400,000 人	2,600,501 人	
(2) 駐車場	利用者数	50,000 台	52,852 台	
(3) 駐輪場	利用者数	83,000 台	98,095 台	
(4) 融合事業	実施回数	7 回	7 回	
(5) 全館業務を対象とした研修	実施項目	4 種	1 種	新しい研修制度を構築中
(6) 危機管理対策研修	実施項目	2 種	2 種	

2. やまと芸術文化ホール				
(1) 年間来場者数		250,000 人	182,885 人	文化芸術事業の来場者数においては、ほぼコロナ下前の水準に戻った。 貸館事業においては、利用人数制限は解除されているものの、自主的に人数や来場制限をする利用者も多く、結果、全体としては目標未達となった。
(2) 施設稼働率(日数)		87%	92%	稼働率は順調に復調し、目標を超える結果となった。
(3) 文化芸術事業	実施回数	23 回	23 回	コロナ下のためアウトリーチの受け入れ先施設が見つからないなどの事案も発生したが、代替事業にて対応を行うなど適切な調整を行い、事業本数は、計画通りの23事業を開催した。 ・芸術鑑賞事業 8事業 ・創造活動支援事業 6事業 ・人材育成・普及事業 5事業 ・連携事業 4事業 計23事業
	来場者数	6,000 人	10,171 人	コロナ下で遠のいたお客様を再度獲得するため、広報戦略の再構築を実行。公演ごとにターゲット設定し、ターゲットに即

				した広報計画を立案・実行をした結果、多くの公演でチケット完売を達成できた。また、イベントにおける開催時ガイドラインに即した運営を心掛け、ギャラリー事業としては初となるチケット制を採用。安心安全な環境を整えた。文化芸術を求める市民のニーズの高まりも相まって、目標を大幅に超える来場者数の獲得につながった。
	満足度	90%	97%	計画に基づき、計 23 事業（一部事業内容の変更あり）を実施。能・狂言公演やフラ・ダンサーズの招聘公演、立体造形作家による作品展示など、これまでのラインナップには無かった、新たな企画を積極的に取り入れ、来館機会の少なかった層の来館誘致につなげた。またクラシック公演やポップス公演まで幅広いジャンルの公演を企画。いずれも質の高いアーティストとプログラム内容を実現し、来場いただいた方から、非常に高い満足度を獲得することができた。
(4) 友の会会員数	会員数	6,800 人	7,648 人	友の会入会促進のチラシやポスターを作成。チラシの配架や公演開催時に配布するなど、友の会の認知度を高める取り組みを実施。合わせてチケット発売前には、先行発売で購入できることを SNS やチラシ、ステージガイド等で告知。目標数を大きく上回る結果となった。
(5) ステージガイド発行回数	実施回数	3 回	4 回	ホール季刊誌としての役割を定め、6 月、9 月、12 月、3 月の計 4 回発行。広報紙を通じ、ホールに興味を持つきっかけにつなげられるよう、紙面構成やデザインなど刷新し、アーティストインタビューや活動報告なども掲載。
(6) 研修回数		15 回	16 回	外部講師を招いての研修や活動方針、事例共有の研修等を実施した。
(7) スタッフの接遇への満足度		90%	92%	ニーズの多様化や新規団体が増える中、来場者の安心・安全を最優先し、不安やニーズに寄り添ったコミュニケーションを徹底して行った。その他、接遇研修の実施やクレドの啓蒙活動を行うことで目標を上回る満足度の獲得に繋がった。

(8) 舞台に関する安全講習実施回数	2回	2回	5月、9月の計2回。予定通り実施。
(9) 舞台に関する事故件数	0件	0件	安全運用マニュアルの活用や日々の安全管理を徹底し、無事故で終えることができた。

3. 大和市立図書館				
(1) 貸出資料数	720,000冊	699,398冊	目標未達、前年度の貸出数も割っており、展示の工夫等も見直していく。	
(2) レファレンス（提供情報蓄積数）	150件	116件	レファレンス技術の向上を全スタッフ対象に実施していくとともに、利用者に向けた周知方法も再検討する。	
(3) 蔵書数（全体新規購入数）	15,000冊	17,219冊	絵本増強もあり、新規購入数が伸長。	
(4) 郷土資料蔵書数	400冊	517冊		
(5) 予約・リクエスト数	270,000件	292,231件		
(6) 健康コーナー提供情報蓄積数	150件	190件	令和3年度から大幅に増加。引き続き相談しやすい環境整備に注力する。	
(7) 健康イベント	実施回数	363回	263回	制限の緩和による、今後の復調を目指す。
	参加者数	5,500人	3,720人	
(8) 家読推進事業	実施回数	25回	27回	
	参加者数	800人	875人	
(9) おはなし会	実施回数	120回	126回	
	参加者数	2,000人	1,985人	
(10) 各種講座・イベント	実施回数	18回	32回	イベント・講座23回、映画会9回
	参加者数	600人	1188人	小田急連携、絵本コンクールなどの企画が好評を博した。
(11) 展示コーナー	実施回数	115回	131回	
(12) 学校対象事業	実施回数	24回	35回	
(13) ボランティア育成講座	実施回数	13回	12回	ボランティアのつどいを含め177人参加。
(14) 研修回数		30回	30回	各種研修に積極的に参加した。延べ人数184人が参加。
4. 大和市立中央林間図書館				
(1) 貸出資料数	340,000冊	393,254冊	つきみ野学習センター図書室休室の影響もあり目標を大きく上回った。利用者増加によりカウンター・閲覧席が混雑することも多かったが、一人ひとりの利用者に丁寧に対応した	

			ことで、大きな事故・トラブル等はなく、安定した運営を図ることができた。
(2) 貸出利用者数	130,000 人	157,041 人	同上
(3) 利用者登録数	2,500 人	2,689 人	同上
(4) リクエスト受付件数	12,000 件	15,474 件	同上
(5) レファレンス受付件数	100 件	108 件	図書館の相談窓口として周知が進み、計画通りの実績となった。
(6) タブレット貸出数	2,500 件	3,118 件	つきみ野学習センター図書室の利用者へも利用が広がったことで目標を大きく上回った。
(7) 研修回数	12 回	24 回	各スタッフの担当業務やレベルに応じたテーマ別研修を全員が受講するとともに、個人情報管理や危機管理の研修を実施した。

#### 5. 大和市立渋谷図書館

(1) 貸出資料数	180,000 冊	155,151 冊	
(2) 貸出利用者数	58,000 人	51,420 人	
(3) 利用者登録数	700 人	639 人	
(4) リクエスト受付件数	5,700 件	5,215 件	
(5) レファレンス受付件数	50 件	96 件	親しみやすく気軽に質問できる雰囲気づくり、より正確な案内をするように努めた。
(6) 研修回数	12 回	20 回	オンライン研修を活用し、スタッフの経験に応じて接遇・基礎研修や専門的な知識を得る研修を実施した。
(7) イベント回数	おはなし会	27 回	27 回
	各種イベント	4 回	10 回
(8) 展示コーナー実施回数	36 回	42 回	毎月のテーマ展示のほか、他の機関と連携した特別展示を行った。

#### 6. 大和市生涯学習センター

(1) 年間来場者数	270,000 人	294,370 人	制限の緩和に伴い来場者数も回復した。	
(2) 施設稼働率	55%	55.8%		
(3) 団体利用数	16,800 コマ	16,816 コマ		
(4) 市民交流ラウンジ利用者数	46,000 人	40,866 人		
(5) 職場体験等受入数	2 回	1 回		
(6) 生涯各期事業現代的課題	実施回数	22 事業/210 日	20 事業/157 日	会議室の利用が回復し、学習室開放の開
	参加者数	5,000 人	3,234 人	

	満足度	90%	92%	催日が減少。利用者も少なかった。
(7) 専門的講座 (やまとみらい カレッジ)	実施回数	3事業/15日	3事業/15日	
	参加者数	600人	529人	
	満足度	90%	88%	
(8) やまとこども も市民大学	実施回数	1事業/1日	2事業/2日	従来の方法とは別に オンラインでの開催 を試験的に行った。
	参加者数	20人	37人	
	満足度	90%	96%	
(9) 生涯学習関 連事業	実施回数	19事業/61日	16事業/61日	市民の学びのきっか け作りとなる講座を 開催し、多くの方に 参加いただけた。
	参加者数	1,000人	1,534人	
	満足度	90%	91%	
(10) 生涯学習 センター まつり	実施回数	1事業/2日	1事業/2日	制限の緩和に伴い多 くの方に来館いただ いた。
	参加者数	1,000人	2,299人	
	満足度	80%	88%	
(11) 利用者懇談 会等	実施回数	3回	2回	サークル倉庫抽選会 は希望者がいないた め中止となった。
	参加者数	80人	22人	
(12) 研修	実施回数	6回	12回	5館合同の職員研修 も取り入れた。
(13) スタッフの接遇への満足度		90%	79%	改めて接遇の基本を 徹底する。
7. 北部文化・スポーツ・子育てセンター				
※ワクチン接種会場となったため、項目により増加、減少があった				
(1) 年間来館者数		400,000人	673,315人	
(2) 駐輪場	利用者数	66,000台	67,126台	
(3) 施設稼働率		65%	80.9%	
(4) 団体利用数		13,000コマ	13,933コマ	
(5) 個人利用	登録数	1,500人	557人	ワクチン接種会場に より、4/1～8/31、 11/1～1/31まで利用 中止。
	利用者数	9,600人	2,579人	
(6) 市民交流スペース利用者数		180,000人	147,601人	
(7) 生涯各期事 業現代的課 題	実施回数	10事業/381日	16事業/421日	
	参加者数	11,950人	19,398人	
	満足度	85%	92%	
(8) 地域や利用 者と密接に 連携した講 座	実施回数	3事業/20日	3事業/18日	
	参加者数	100人	275人	
(9) センター まつり	実施回数	1事業/2日	1事業/2日	
	参加者数	2,000人	2,799人	
	満足度	80%	82%	
(10) 地域文化振 興事業	実施回数	2事業/2日	2事業/3日	
	参加者数	300人	228人	
(11) 利用者懇談 会等	実施回数	3回	2回	倉庫・ロッカー調整 会は調整不用のため 中止。
	参加者数	30人	5人	
(12) 研修	実施回数	7回	18回	

(13) スタッフの待遇への満足度	85%	75%		
8. 大和市つきみ野学習センター				
※大規模改修工事のため令和5年2月、3月のパフォーマンス指標				
(1) 年間来場者数	30,000人		令和3年12/29～令和5年4/9まで大規模改修工事のため休館。	
(2) 施設稼働率	50%			
(3) 団体利用数	1,260コマ			
(4) 職場体験等受入数	0回			
(5) 生涯各期事業現代的課題	実施回数	7事業/117日	5事業/19日	渋谷学習センターより「オンライン保育室秋・冬組」を開催した。
	参加者数	750人	274人	
	満足度	85%	96%	
(6) 地域や利用者や密接に連携した講座	実施回数	1事業12日	1事業/4日	市民交流拠点ポラリスより「オンライン保育室ほっと☆のびのび」を開催した。
	参加者数	60人	28人	
(7) 専門的講座(やまとみらいカレッジ)	実施回数	1事業/5日	1事業/5日	市民交流拠点ポラリスの会議室にて開催した。
	参加者数	200人	168人	
	満足度	85%	97%	
(8) つきみ野学習センターまつり	実施回数	—		令和3年12/29～令和5年4/9まで大規模改修工事のため休館。
	参加者数	—		
	満足度	—		
(9) 地域文化振興事業	実施回数	—		
	参加者数	—		
(10) 利用者懇談会等	実施回数	3回		
	参加者数	60人		
(11) 研修	実施回数	7回	19回	オンライン研修も活用した。
(12) スタッフの待遇への満足度	85%			令和3年12/29～令和5年4/9まで大規模改修工事のため休館。

9. 大和市桜丘学習センター				
(1) 年間来場者数	200,000人	203,700人		
(2) 施設稼働率	60%	68.1%		
(3) 団体利用数	5,890コマ	7,297コマ		
(4) 職場体験等受入数	2回	2回		
(5) 生涯各期事業現代的課題	実施回数	12事業/761日	13事業/761日	
	参加者数	1,000人	1,622人	
	満足度	85%	93%	
(6) 専門的講座(やまとみらいカレッジ)	実施回数	1事業/5日	1事業/5日	サテライト会場として生学、渋学を設定した。
	参加者数	200人	121人	
	満足度	85%	93%	
(7) 地域や利用者や密接に連携した講座	実施回数	1事業/10日	2事業/19日	ロビー展示イベントなど多くの方にご参加頂いた。
	参加者数	160人	1,149人	
(8) 桜丘学習センターまつり	実施回数	1事業/2日	1事業/2日	コロナ下のため参加人数に影響があった。
	参加者数	2,500人	1,604人	
	満足度	87%	91%	

(9) 地域文化振興事業	実施回数	1事業/1回	1事業/1日	コロナ下のため人数を制限して実施した。
	参加者数	200人	55人	
(10) 利用者懇談会等	実施回数	3回	3回	
	参加者数	60人	108人	
(11) 研修	実施回数	7回	11回	
(12) スタッフの接遇への満足度		82%	75%	
10. 大和市渋谷学習センター				
(1) 年間来場者数		260,000人	275,656人	
(2) 施設稼働率		45%	33.1%	コロナ下のため利用されなくなった団体の影響により、目標数値を下回った。
(3) 団体利用数		11,450 コマ	6,874 コマ	
(4) 職場体験等受入数		2回	3回	
(5) 生涯各期事業現代的課題	実施回数	11事業/1,078日	18事業/1,108日	各事業、順調に開催に至り、目標数値を上回った。
	参加者数	3,000人	5,880人	
	満足度	85%	95%	
(6) 専門的講座(やまとみらいカレッジ)	実施回数	1事業/5日	1事業/5日	サテライト2会場による実施もあり、目標数値を上回った。
	参加者数	200人	348人	
	満足度	85%	92%	
(7) 地域や利用者と密接に連携した講座	実施回数	1事業/5日	中止	コロナ下のため盆踊りの開催が中止となった。
	参加者数	50人		
(8) 渋谷学習センターまつり	実施回数	1事業/2日	1事業/2日	コロナ下のため参加人数に影響があった。
	参加者数	2,200人	1,314人	
	満足度	95%	90%	
(9) 地域文化振興事業	実施回数	4事業/15日	3事業/3日	各事業、観客を伸ばした為、目標数値を上回った。
	参加者数	300人	465人	
(10) 利用者懇談会等	実施回数	3回	2回	貸出倉庫調整会は調整不要となり、中止。
	参加者数	60人	36人	
(11) 研修	実施回数	7回	7回	
(12) スタッフの接遇への満足度		85%	74%	接遇、施設(掲示物等)両面から職員間で話し合い、具体的な取り組みを開始。

11. 大和市屋内子ども広場				
(1) 年間来場者数		120,000人	125,229人	第3四半期以降、利用者数の伸びが堅調で、対前年同月比では二桁増が続き、3月には約3年半ぶりとなる10,000人を超えるまでに回復した。
(2) 登録者数		18,000人	15,423人	目標件数には届かなかったが、市外利用者は昨年より323人増となり、

				市外からの経済効果に期待が持てると同時に当施設の魅力も着実に広がりつつある。
(3) 各種サービスに対する満足度		90%	95.4%	
(4) 屋内公園事業 (げんきっこ広場)	利用者数	52,500人	51,227人	11/11(金)に約2年半ぶりとなる「ボールプール」の再開したことにより、再開以降の土日祝や長期連休(年末年始や春休みなど)では、再開を楽しみにしていた利用者を中心に毎クール入場制限が掛るほどの賑わいが続いた。
	イベント実施数	120回	319回	第3四半期から、場内の雰囲気や利用者状況によって開催する「サプライズイベント」の回数を増加。特に、クール終了間際に行う大きなカラフルの布を使った「パラバルーン」は好評で、げんきっこ広場の集客増に繋がった。
	イベント参加者数	3,200人	9,353人	
	満足度	90%	97.5%	
(5) 屋内公園事業 (ちびっこ広場)	イベント実施数	150回	4回	9月は敬老の日のサプライズイベントとして「てがた de まごころ」を開催。また11月には、シリウス6周年記念企画「お祝いクラウン」を開催。その他のイベントはコロナ下のため安全を考慮し中止した。
	イベント参加者数	3,000人	70人	
	満足度	90%	95.8%	
(6) 幼児預かり事業	利用者数	1,900人	1,433人	10月から1月に掛けて、こどもの体調不良などによる理由でキャンセルが続き、前年同月を割り込む月もあったが、2月以降は預かり件数も増加し、3月は179件と令和4年度で最も預かり件数の多い月となった。
	イベント実施数	45回	53回	乳幼児を抱える母親を対象とした人気の定番イベント「たんシリーズ」の他に、父親を対象とした新たなイベント「パパとママとあそぼう」を実施。父親の育児に対する興味や参加意欲の増進に繋げることができた。
	イベント参加者数	500人	754人	
	満足度	90%	98%	
(7) 育児相談事業	相談件数	1,000人	806人	相談件数：70件
	満足度	90%	95%	身体測定：526人



				育児イベント：210人 合計：806名
(8)多目的室運営事業	利用団体数	12組	2組	登録団体：2組 大和おやこ劇場：年2回 利用 パルシステム神奈川：年 1回利用
	イベント実施数	170回	185回	利用者ニーズに応える 形で、新たに保護者向け アクティブ系イベント 「dance dance dance」を 実施。大好評のイベント となり、今後定期的に開 催する予定。
	イベント参加者数	1,700人	1,659人	
	満足度	90%	96.4%	
(9) ボランティア確保数		10人	5人	融合事業として、ポラリスサマーイベント「シリウス屋内こども広場がやってくる」を開催。主に場内での見守りと受付業務の補助を担当。
(10) 研修回数		12回	15回	接遇強化を目的に、新たにボーネルンド直営店での実地研修を取り入れ、異なる環境に身を置くことで、新しい価値観や接客手法などを習得し、スタッフのサービス向上に取り組んだ。
(11) スタッフの接遇への満足度		90%	95.4%	スタッフ一人一人が利用者の気持ちに寄り添いホスピタリティ溢れる行動を心掛けたことで、誰からも親しみやすい居心地の良い施設を築くことができた。

## ・利用者サービスに関すること

### (1) ホール関連サービス（対象施設：やまと芸術文化ホール）

#### ① 基本方針

令和4年度は指定管理者第二期の2年目として「文化芸術の力で、健康で豊かな心を育て、地域・まちを活気づけます」の基本方針に則り運営をしました。コロナ下の利用制限が徐々に緩和され、市民が芸術文化活動を行う場が戻りつつある状況の中で、より市民の皆さまが安心して安全に文化芸術に触れる・携わることができるように心がけました。

#### ② サービス提供に関する取り組み

##### 1) 柔軟なサービス提供

###### ア) 利用者に合わせたサービスの展開

障がいをお持ちの方やご高齢者などの利用者に対して、筆談機を用いたり、声の大きさや話す速さを変えたりする等、丁寧なサポートを行いました。また、利用者の年齢や様子に合わせて、メモに書いてお渡ししたり、補足ツールをお渡ししたりするなど、利用者寄り添った対応を徹底しました。

###### イ) 感染症予防対策

利用制限や方針が徐々に緩和されていく中で、利用者や来場者が不安なく利用できるよう、国や県、全国公立文化施設協会などの最新のガイドラインを一早く把握し、芸術文化ホールに合わせた運用方法を見直し、適切なタイミングでホームページにて周知を行うとともに、利用者・来場者にとって、わかりやすいご案内を徹底しました。

文化芸術事業においては、感染拡大状況にあわせた運営（席数制限、分散退場、レセプションの配置等）と感染防止対策を講じることで、安心安全にご来場いただくための方策を実施しました。

また貸館事業では、感染防止対策を講じた催事内容となるよう支援しました。コロナ下からの回復により、多くの来場者が見込まれる催事などの際には、どのような運営をすればよいか、不安を持つ主催者も多くいらっしゃいます。具体的な席の配置や整列の方法などをわかりやすく提案し、主催者が安心して催事を開催できるように、ニーズ寄り添った対応を心掛けました。

###### ウ) スタッフの教育研修

ご利用者の満足度向上のため、受付・事務所スタッフに向けたスキルアップ研修を、年間を通じて行いました。「舞台研修」は、貸館利用者に対して、より具体的かつわかりやすい説明ができるようになることを目的として開催。舞台スタッフによる座学に加えて、実際に舞台で使う備品を組み立てるワークを取り入れ、舞台制作の知識を実践的に学びました。「レセプション研修」は、来場者を円滑かつより安全にご案内できるようになることを目的として開催。「レ

セプションニスト研修～プライオリティ対応編～」では、障害をお持ちの方、高齢者を対応する上での心構えと実践的な案内スキルを学びました。また、県外他館（大阪府中央公会堂、千代田区立図書館）に赴き、施設の見学と視察先職員と意見交換を行いました。運営ノウハウを吸収すると共に視察先職員との関係構築を深めました。

## 2) 利用・鑑賞に対する支援について

### ア) 利用者ニーズを汲んだ対応

コロナ下からの回復を受け、新規の利用者や、期間が空いてのご利用となる方が増えました。そのため、利用者によってよりわかりやすく円滑にご利用いただけるよう、施設の下見を積極的にご案内・対応しました。また、遠方の方や日程が合わない方には、昨年導入した3Dウォークスルーをご案内するなど、利用者の立場に立ち、ニーズを汲んだ対応を心掛けました。

### イ) 主催公演におけるレセプションニストの配置

都度対応が変化する感染対策をイベント開催時のガイドラインと照らし合わせ、必要な個所に必要な数のレセプションニストを配置し、お客様が安心安全に公演を鑑賞していただくためのご案内と感染対策の周知を行いました。

### ウ) 主催公演における難聴者支援システムの活用

全ての主催公演時に、難聴者支援システムの貸し出しができる体制を構築しました。また、貸出用のイヤホンの種類を増やし、状況にあわせて選択できるような機材の充実も図りました。バリアフリーコンサートでは、システムの貸し出しが15台にもおよび、お客様への認知や浸透にもつながったことに加え、好評を博しました。

## ③ 事業報告

### 1) 事業方針及び事業内容

#### ア) 貸館事業

貸館事業においては、(a)利用者の利便性向上、(b)非接触型の運営、(c)施設稼働率の向上、の3つを基本方針に掲げ様々な施策を行ってまいりました。施策の実施に当たっては、積極的に他館の情報を収集、視察するなど視野を広げ、多角的な面から検討しました。

#### ア) 利用者の利便性向上（施設予約システムを使用した抽選の実施）

施設予約システムの機能を活用した抽選の導入を検討しました。導入に向けて、同システムを使用している他館へのヒアリングや視察、検証を進めるとともに、大和市やシステム会社（パスコ社）とも協議・調整を進めました。検証の結果、システム契約関連の事情等により、導入は見送りとなりましたが、一連の検証によって得られた知識・ノウハウもあったため、今後の施設予約システムの運用精度向上に活かして参ります。

また、利用者のニーズに応えた利用ルールの改定を実施いたしました。メイ

ンホール反響板の設置にかかる約 30 分は、これまで利用時間に含まれておりましたが、利用時間に含まない運用に変更し、利用開始時間前に設置する運用に変更したことで、利用者の利便性向上に繋がりました。

b) 非接触型の運営（キャッシュレス化の推進）

非接触型の運営を推進することを目的とし、貸館利用料の支払いにおいて、新たに銀行振込対応を可能としました。貸館の催事によっては、利用者が高額な金額を持ち歩く必要がありましたが、振込対応を導入したことで利便性向上とともに安全性の向上にも繋がりました。

c) 施設稼働率の向上

ギャラリー稼働率向上を目的とし、下見会・展示体験会を実施しました。公募した 10 組の展示体験希望者が作品を展示。併せて利用相談の時間も設けました。延べ約 350 名が来場者され、施設予約にもつなげました。また、メインホール・サブホールの稼働率向上を目的とし、利用予定のある利用者をターゲットに練習利用の販促を行いました。結果、施設の利用方法の認知向上と稼働率向上につながりました。

イ) 文化芸術事業

仕様書に則り「芸術鑑賞事業」「創造活動支援事業」「人材育成事業」「連携事業」の 4 種の事業を実施しました。「芸術鑑賞事業」では、大和市出身の元 V6・長野博氏が出演したミュージカル公演や、日本を代表する能楽師たちが集った能狂言公演、コロナ下で制限されていた海外アーティストの入国緩和後、久々の招聘公演など、様々なジャンルの公演を開催しました。「創造活動支援事業」では、第二期の継続事業として開催しているバリアフリーコンサートで新たな鑑賞サポートとして、UD トークによる文字支援や舞台手話通訳を取り入れました。また、身近な素材のダンボールがアートとして再生するダンボール恐竜展など、これまでの主催事業とは趣の異なる事業を開催し、新たな来館者層の獲得につなげました。「人材育成事業」では、本公演につながる事前講座を開催し、格式高い公演をより身近に親しんでいただくための施策や、学校プログラムの一環として、市内小学生をホールへ招待し大和市出身の落語家・柳家あお馬氏の落語会を開催するなど、「市民と文化とホール」をつなぐための取り組みをこれまで以上に強化いたしました。「連携事業」では、スターバックスコーヒーや FM やまとのコラボレーション企画を制作し、文化芸術の広がりや新たな発見や面白みを得られるような取り組みを推進しました。

○令和4年度 やまと芸術文化ホール 文化芸術事業

芸術鑑賞事業				
日付	会場	事業名	内容	入場者数
4/30	メインホール	0歳からのオーケストラ～ズーラシアンブラス meets 東京交響楽団	オーケストラとズーラシアンブラス（金管五重奏）による本格的なクラシック公演。0歳から入場でき、ベビーカーでご来場される親子も多数。一緒に楽しめる要素も多く、演奏に合わせて小さな子どもも自ら手を叩いたり、体を動かしたりと会場全体が一体となった。子育て世代とホールをつなぐ機会創出につながった。	736名 (完売)
6/2	メインホール	オフ・ブロードウェイ・ミュージカル「Forever Plaid」	大和市出身・長野博が出演するミュージカル。全国ツアーの一つとして、大和での凱旋公演が実現。生バンド演奏に華やかな衣装や照明、卓越されたパフォーマンスに加え、観客を巻き込む演出など、会場全体を魅了。市外からも多数ご来場され、当館の認知度向上にも貢献した。	876名 (完売)
7/18	メインホール	錦織 健& 荘村清志 デュオ・リサイタル	澄み渡る歌声と繊細でかつ、力強いギターの色で奏でられるアリア、日本歌曲、歌謡曲、カンツォーネなどに加え、ギター・ソロも交えた演奏と、響き豊かなメインホールの特性を存分に活かした内容に、クラシックファンを唸らせるコンサートとなった。	880名 (完売)
8/7	メインホール	ナプア・グレイグ with ハワイアン・フラ・ダンサーズ - Halau Na Lei Kaumaka O Uka-JAPAN TOUR 2022	フラダンスの世界大会で優勝経験を持つトップレベルのフラチームを招聘。コロナ下の入国制限などが続いていたため、久々の海外アーティストによる公演。ダンスだけでなく、生バンドの演奏、美しい歌声に加え、趣向を凝らした照明演出など、世界トップレベルのエンターテインメントを体感する貴重な公演となった。	836名 (完売)
10/2	メインホール	サーカス 45周年コンサート～We love harmony～	結成45周年を迎え、1970～80年代に人気を博したヴォーカル・グループ「サーカス」によるポップス・コンサート。オリジナル曲やシティー・ポップなどの有名曲を交え、大和公演の特別プログラムとして構成。ウィットに富み、あたたかな歌声とハーモニーで涙するお客様も多数いらした。心に響くコンサートとなった。	864名 (完売)

11/27	メインホール	N響メンバーによる弦楽四重奏	国内最高峰のオーケストラ・NHK 交響楽団に所属し、国内外で活躍する奏者4名によるコンサート。有名なクラシックの名曲の演奏に加え、出演者による楽器説明や作曲された時代の背景、曲の分析などのレクチャーも実施。クラシック音楽の奥深さを知り、新たな視点から鑑賞することで見えてくるクラシック音楽の面白さを提案する内容となった。	723名
2/18	メインホール	立春！ 能・狂言の世界	主催公演として初となる「能・狂言」公演を開催。総合演出の味方 玄と協議の上、能・狂言の伝統的な上演形式を採用。またホール舞台上に能舞台を設営するなど、本格的な能公演が実現。出演者には重要無形文化財総合指定保持者の片山九郎右衛門（能楽師）、野村萬斎（狂言師）の他、日本を代表する能楽師たちが出演。市内はもちろん、全国からの注目も高く、遠方からこの公演を目当てに足を運ばれる方も多数いらした。ホールの認知度向上にも貢献した。	683名 (完売)
3/5	メインホール	早春！やまと寄席 ～笑喜乱舞～ (企画変更)	おでかけ事業を予定していたが、コロナ下のため受け入れ先鑑賞事業へ企画変更。伝統芸能の中でも市民ニーズの高い落語公演を開催。創作、上方、新作、古典と4種の落語を得意とする噺家たちに加え、大神楽、漫才と、演芸場で開催される寄席の形を再現した。これまで毎年開催していた落語への期待と感ずるとともに、落語の多様さを再認識する機会となった。	363名

#### 創造活動支援事業

日付	会場	事業名	内容	入場者数
6/26	メインホール	市民がつくるコンサート Vol.3	大和市内で演奏活動を行う市民を対象に出演者を公募。80代以上で構成されるオカリナアンサンブルと、オカリナ・ギターによるデュオが出演。演奏内容に加え、年齢に関係なく音楽へ勤しむ姿は、観客に感動と元気を与え、市民による文化芸術活動への活力につながるコンサートとなった。	207名

1/21	メインホール	市民がつくるコンサート Vol.4	大和市内で演奏活動を行う市民を対象に公募により出演者を公募。アコースティックギターとカホン、女声合唱と小型ハーブ、バイオリン教室の3団体が出演。小学生から年配層まで幅広い市民がステージに立ち、日ごろの成果を披露。アットホームな雰囲気に包まれた。ステージ裏では出演者同士の交流もあり、市民がつながる場となった。	154名
2/26	メインホール	あこがれのバレエを初体験！成果発表会	大和シティー・バレエの佐々木三夏を講師に迎え、小学1年生から3年生の初心者を対象としたバレエワークショップを実施。本番は大和シティー・バレエのパフォーマンスと成果発表の構成。初回は緊張した面持ちだった子どもたちも練習ごとに成長する姿をみせ、多くの方に見守られながら無事、本番が終了。子どもたちが“やりぬく力”を身に付け、心身ともに成長する機会を創出した。	420名
3/18	サブホール	みんなの音楽会 Vol.3 鵜木絵里 & 中川賢一 【午前】 親子で楽しむバリアフリーコンサート 【午後】 大人が楽しむバリアフリーコンサート	3回目となるバリアフリー公演は「親子向け」と「大人向け」のターゲットに分け、別プログラムの2回公演にて実施。プログラム構成、公演時間、演出などにも工夫を凝らした。鑑賞サポートには、手話通訳、点字プログラム、難聴者支援システムなどを採用し、UDトークによる文字支援、舞台手話通訳を追加。障がい者団体や近隣ホール関係者の来場者も多く、注目度の高い公演となった。	【午前】 162名 (完売) 【午後】 100名
3/18 ～ 3/26	ギャラリー	造形作家 玉田多紀 展 ダンボール恐竜の世界	日常の中で身近にあるダンボールに命を吹き込む造形作家 玉田多紀の美術展を開催。素材の親しみやすさや、恐竜にスポットを当てた作品のわかりやすさも相まって、0～80代まで、幅広い年齢層の方々がご来場。会場内では、“アートを楽しむための仕掛け”として、写真撮影を可とし、触れられる作品を展示、制作体験エリアを設けるなど、展示方法や空間演出も一考。「アートを身近に感じる」機会の創出につなげた。	2,069名 (満席)
3/19	ギャラリー	造形作家 玉田多紀 展 ダンボール恐竜の世界 関連イベント 玉田多紀の ギャラリークルーズ	造形作家 玉田多紀が作品の説明をする特別企画を開催。これまでの活動や今回展示している作品に込められた想いなどを紹介。また母親としての視点も交えながら、時にはユーモアを交えた軽快なトークでお客様とともにギャラリー内を巡った。作家の人となりを知り、作品の魅力を感じ、来場者の内なる創造性をくすぐる機会となった。	20名 (満席)

人材育成・普及事業				
日付	会場	事業名	内容	入場者数
8/6	メインホール	こどものための楽器体験 PAN NOTE MAGIC for KIDS	ドラム缶を加工し、南国トリニダード・トバゴで生まれた打楽器スティールパンを取り上げた。対象を未就学児向けと小学生向けに分け、年齢に合わせた体験内容を実施。普段触れることのできない楽器の鑑賞と体験、またステージ上での特別な場所での実施により、子どもたちの“はじめて”を応援する企画となった。	36名 (満席)
8/7	サブホール	ナプア・グレイグ with ハワイアン・フラ・ダンスをより楽しむための 公演直前講座	日本唯一のフラ専門誌「フラレア」を創刊した平井編集長を講師に迎え、フラダンスの歴史や地域ごとの特性、魅力について造詣を深める講座。講座の後半には、メインホールに移動し、本番直前のリハーサルを見学。プロが創り出すステージの裏側を知る貴重な機会を提供した。	42名
10/1	メインホール	憧れのアーティストによる夢のレッスン 永峰高志 ヴァイオリン・マスタークラス	メインホール舞台上でプロの演奏家から直接指導を受けることができるマスタークラスを開催。受講者は、公募の中から審査を通過した小学生2名と高校生の計3名。楽器の構え方や弓の持ち方などの基礎的なアドバイスから、表情豊かに演奏するためのコツ、会場にあわせた音の響かせ方などの多様な指導が行われた。音楽家のタマゴを後押しする機会となった。	受講者：3名 聴講生：21名
1/18	メインホール	やまと寄席～特別版～ 落語のいろは	校長会にて学校アウトリーチ事業を提案。立候補があった引地台小学校の4～6年生にインリーチを実施。大和市出身の落語家・柳家あお馬と紙切の林家楽一2名による構成とした。指定席制、学校学習に則った番組作り。舞台上と楽屋の見学などの特別体験を盛り込み、次世代育成の場の創出とともに「学校×地域人材×ホール」をつなぐ一助とした。	168名 児童、教員含む
1/22	サブホール	味方 玄、 能楽の魅力	2/18(土)に開催した本公演に向けた事前講座。出演者自らが、演目の見どころや能の基礎知識の説明し、『船弁慶』で使用する衣装の公開着付けや能面なども解説。船弁慶の仕舞を披露するなど充実の内容。日本の美の“侘びさび”を感じるひとときとなった。	131名 (完売)

連携事業				
日付	会場	事業名	内容	入場者数



5/8	ギャラリー	おはなしにふれよう！ in シリウス 柳家あお馬 子どものための「落語のいろは」	図書館城下町事業「絵本のまち やまと おはなしにふれよう！」を構成する1つのイベントとして、大和市出身の柳家あお馬を起用。子どもに向けた落語入門を実施。落語の所作や小道具の紹介から、「転失気」「寿限無」など、小さな子どもたちでもわかりやすいネタを披露。日本伝統芸能に関心を寄せる第一歩を後押しすることができた。	①午前 48名 ②午後 42名
12/3	桜丘学習センター	ワクワク弾む！ 子どものためのクリスマスコンサート	やまとみらいの施設・桜丘学習センターと連携し、親子向け出張コンサートを開催。エリクオ（パーカッション、ギター）の二人組が出演し、童謡やクラシック、クリスマスメドレーなどを演奏。キッズシートエリアを設置し環境面を整えるとともに、サンタに扮したスタッフから、お帰りのお客様へシリウスグッズのプレゼントを渡すなど演出面も工夫。シリウスの活動を知っていただく機会となった。	45名 (満席)
12/24	サブホール	カフェと音楽 ～クリスマスブレンド・コンサート～	シリウス館内スターバックスコーヒーと連携し、コンサートを開催。スターバックスのバリスタによる知的好奇心をくすぐるコーヒーやカフェにまつわるエピソードトークと、加藤文枝（チェロ）と小澤佳永（ピアノ）による温かな音色に包まれた演奏会。ホール内にコーヒーの香りを漂わせる工夫も行い、五感に訴える新しい形のコンサートを実現した。	200名 (満席)
2/11 2/12	イオンモール大和 ライコート	FM やまと×やまと 芸術文化ホール presents バレンタイン “ちょこっと LIVE”	シリウス館内の地元 FM局「FM やまと」と連携し出張イベントを実施。企画内容から出演者選定、広報宣伝、当日運営などの協議を行い企画実施に至った。広報連携として、番組出演によるイベントの事前告知、イベント当日に録音した演奏を、後日番組内で取り上げる事後報告など、新たな取り組みも展開。イベント実施以外にも連携による相乗効果がもたらされ、今後の期待につながる取り組みとなった。	2/11 240名 2/12 180名

#### ウ) 市民参加型事業

##### a) アンケートの実施と分析

主催事業実施時にはアンケートを実施し、来館者の属性や傾向、ご来場者の満足度を公演ごとに分析しました。インターネットで購入されたお客様には、認知経路のアンケートを実施。媒体効果の分析や広告出稿による効果の分析を行い、広告媒体の選定などに活かしました。

##### b) 友の会運営の充実

今年度の友の会会員数は約 600 名増え、7,648 名となりました。友の会チラシを刷新、デザインを変更しました(年 2 回発行)。特典となるチケット先行発売の対象公演を視覚的に訴えかけられるレイアウトにしたことや、ホールから発信する広報物には、会員募集の情報掲載とともに二次元コードを掲載するなど、友の会ページへアクセスしやすくするの施策を行った結果、大幅な会員増につながりました。

## エ) 情報発信事業

### a) 定期広報紙「ステージガイド」での発信力強化

レイアウトのリニューアルを行い、発行回数も 4 回に変更。ホール出演者インタビューやピックアップ公演のコラムなどの掲載を開始し、より深く、公演への興味を持っていただくための読み物として編集しました。あわせて、事業レポートも掲載し、ホールの取り組み周知にも努めました。

### b) ホームページの活用

ホールが発信する各種広報媒体に URL と二次元コードを記載し、ホームページへの誘導を積極的に推進しました。常に最新の公演情報に更新するとともに、出演者インタビューや PR 動画も掲載、催事内容や感染対策などの情報をわかりやすく掲載し、ホールが行う文化活動への取り組みの周知を行いました。

### c) ソーシャルメディアの活用

フェイスブックやインスタグラムを活用し、デジタルツールの強みであるタイムリーな情報発信を行いました。全てをホームページに誘導する仕組みに統一し、SNS の強みである画像を中心とした情報掲載を強化。SNS とホームページの強みを活かした相互関係の構築に努めました。

### d) ポスターボードを活用した情報発信

小田急線大和駅構内の専用掲示板、シリウス内外部ショーケース、メインホール内ポスターボードを活用し、来館促進につなげました。特に、注目を集める駅構内ポスターボード、シリウス外部ショーケースは、定期的にポスターの入れ替えを行い、戦略的な情報発信を行いました。

### e) 新聞、業界専門誌、ウェブ媒体への情報掲載

各種リリース配信サービスを活用し、ウェブ上での情報掲載強化に努めました。あわせてウェブ広告の掲載を開始し、新たな客層への情報周知に努めました。また、テレビ神奈川でのスポット放送、神奈川新聞でのインタビュー掲載など、神奈川県全域への情報発信も行い、市外の方の来館誘致につなげました。

### f) 地元媒体誌との連携強化

ニュースリリースの配信、タウンニュースでのインタビュー掲載、FM やまとの番組出演、またコラボレーションイベントの開催など、新たな連携方法

を実現しました。また、地元メディア担当者へ定期的に情報提供を行い、紙面掲載、番組内での情報告知などの連携強化につなげました。

## 2) 実施体制

芸術文化ホールには貸館事業を担う運営部門、文化芸術事業を担う事業部門を設置し、円滑なホール運営を行いました。さらに、芸術文化ホールの広報部門がやまとみらい全体広報を担いました。舞台設備管理は㈱シグマコミュニケーションズへ委託しています。

### ④ 舞台設備管理

舞台設備は舞台管理の専門会社である㈱シグマコミュニケーションズに委託し管理を行いました。すべての利用者に安心・安全な施設を提供するべく、関係法令に基づいた安全管理に努めるとともに、舞台技術者による日常点検、及び専門会社による定期保守点検により、機材及び備品を常に良好な状態に保っています。

#### 1) 設備機器の安全確保

##### ア) 舞台技術スタッフによる日常点検・保守点検

始業前の目視による状態確認、異常動作音の有無確認、モーター等の異臭確認等の各種点検を実施しています。また不具合が発生した際には迅速な初期対応と報告、及び保守業者への緊急連絡を行える体制を整えています。

##### イ) 専門会社による保守点検

保守点検は、音響、照明、舞台、客席の専門会社に再委託しています。日常点検や設備操作を通し、発生した異常や不具合箇所の状況を専門会社へ情報共有を行い、不具合箇所の重点的な点検を依頼しています。

## ■定期保守点検 年間実施状況

下表のとおり定期保守点検は計画通り実施しました。

設備	施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
音響	メインホール				25-27						10.1 1		
	サブホール				19.2 0						23		
照明	メインホール						5-7						15-17
	サブホール						14.1 5						4/4. 5
舞台	メインホール		23			8.9			24.2 5			20	
	サブホール		23			8			24			20	
客席	メインホール					9						21	
	サブホール			20							24		

※定期保守点検は、各設備の専門会社に再委託しました。

## ■ピアノ調律・点検 年間実施状況

年間計画に沿って調律・点検を実施しました。日程に関しては下表のとおりです。

ピアノ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
フルコン1	25		6		22 総		17		5		13	
フルコン2	25		6		23 総		17		5		13	
グランド	25		6		22, 23 総		17		5		13	

※ピアノの定期調律・総合点検は、専門会社に再委託しました。

### 2) 設備機器の長寿命化

専門業者と連携して舞台機器の中長期的な修繕計画を策定し、現状の機器コンディションを踏まえた適切な更新をご提案することにより設備の長寿命化と安定的な運用に努めております。

### 3) 事故の未然防止

他施設で電源タップ部のトラッキングによる小火発生の事例があり、全社的に電源回りの定期点検に取り組んでおります。今後も電源回りの定期点検を継続し、トラッキングによる事故の予防措置を継続していきます。

また高所での安全作業と法令を遵守した安全対策は引き続き重点的に行っています。利用者様への周知とわかりやすい案内表示を今後も継続し、事故防止に努めます。

### 4) 舞台安全マニュアルの活用

舞台操作に係る事故の未然防止策の基本となる安全運用マニュアルを活用し、安全を最優先とした業務を行いました。

### 5) 研修によるスタッフの育成

令和4年度は他施設で行われた社内スタッフ向けの舞台技術研修と芸術研修会を受講いたしました。舞台技術研修では、リノリュウム・雪籠・屏風の取り扱いや高座の作成、及び映像機器の取り扱いや映像配信についての研修を受講し、芸術研修会ではバレエ「くるみ割り人形」を題材としてバレエに関する知識を深めました。利用者のニーズに対して期待以上の「付加価値」を提供することを目指し、各スタッフが必要に応じた研修を受講しています。

## (2) 図書館関連サービス (対象施設：大和市立図書館、大和市立中央林間図書館、大和市立渋谷図書館、各地区学習センター図書室)

### ① 基本方針

大和市が掲げる「図書館城下町」と「健康都市」という2つの大きなテーマの実現のため、以下の5つの行動指針を、適切に推進実行しました。さらに令和4年度は、「子育てしやすい街」ならではの「絵本のまち」新規3事業(まちなか絵本スポット、セカンドブック、やまと絵本大賞)を開始したほか、行動指針の4番目である電子図

書館の大幅な運用変更を行い、利用促進に努めました。また、来館者に安心安全にご利用いただくため、スタッフのマスク・手袋の着用、館内の消毒や換気を引き続き徹底しました。

○幅広い世代の人が読書に気軽に親しめる環境づくりを実現します

○おひとりさまや高齢者の方にも居心地の良い、第3の居場所を提供します

○図書館の本質的機能である情報、資料の収集と提供の充実を目指します

○電子図書館を「天空の出城」と位置づけ、新しい読書環境を提供します

○安心安全な管理運営を実現します

## ② サービス提供に関する取り組み

公共図書館の役割を理解した上で、すべての利用者に平等で公平なサービスを提供しました。

### 1) 日常的なサービス提供

すべての来館者に快適にご利用いただくために、接遇の向上を心掛けました。この点については、やまとみらい全体ならびに図書館運営会社独自の改善策も進めています。また個人情報保護については、Pマーク研修や社内監査を実施し適切な管理に努めました。

### 2) 民間のノウハウを活かしたサービス向上

仕様書・提案書記載事項を計画に基づき遂行いたしました。サービスレベルにおいても、座席数や催事等の利用・人数制限について安全面を考慮しながら徐々に緩和したことで、コロナ以前に戻りつつあります。

また、カウンターやフロアでの接客スキルやレファレンス能力の向上には、聞く力と利用者の要望を推察する力が求められます。こうしたコミュニケーション能力の向上のため、課題の洗い出しやスタッフ面談を従前以上に重視し、外部研修にも積極的に参加しました。

### 3) 様々な利用者が利用しやすい環境づくり

SDGsに象徴されるように、多様な利用者への対応は図書館にとっても重要な課題です。各種講座の実施にあたってこうしたことを意識し、事業者のネットワークを生かした新たな取り組みも行うことで、すべての利用者にとって快適な環境づくりに努めました。従前からの課題である、館内の座席不足については、他フロアとの調整を行ったほか、読書室における座席入替制の導入等を検討しています。

## ③ 事業報告

### 1) 事業方針及び事業内容

図書館に関心や親しみを持っていただくため、また様々なことへ興味を抱くきっかけづくりとして、多様な事業を実施することで読書活動推進に努めました。

令和4年度の主たる事業として、絵本のまち新規3事業、電子図書館運用変更と蔵書補強、つきみ野図書室改修に伴う休室期間の延長がありました。絵本のまち事業は、「まちなか絵本スポット」「セカンドブック」「やまと絵本大賞」のほか、多

国語のものを含む絵本蔵書の補強に合わせて開架の配置変更も行いました。

また、これまでの先進的な取り組みや官民の連携が評価され、Library of the Year 2022において優秀賞に選出されるという嬉しい出来事もありました。

ア) 大和市立図書館

大和市が進める「健康都市やまと」の実現や「子ども読書活動推進計画」に謳われる子どもの読書推進のため、健康意識の啓発や関心を高める事業や子ども向け事業などに取り組みました。

a) 各種事業

事業名	内容
読書をテーマにした事業	地域と図書館をつなぐ「小田急江ノ島線で行こう 図書館を巡って謎解き探検！ in 大和市」などの新たな事業を企画し、好評を博した。
映画会	9回実施。大人から子どもまで楽しめるよう幅広い映画を上映。合計 325 名参加。サブホールでの開催を行ったほか、別途、月イチ学園祭での出張上映も実施した。
バリアフリー映画会	障がいがある方にも一緒に映画を楽しんでいただけるように日本語字幕と音声ガイド付きで上映。2/11 に開催。作品は『おらおらでひとりいぐも』。62 名参加。
ティーンズ世代向け事業	ティーンズ世代に読書や図書館に関心を持ってもらう機会となる事業を企画した。「MISSING PIECE～名作の欠片を集めて～（クロスワード・しおり配布）、「ORIMAME」など。
電子図書館	電子図書館の運用方法を見直し、よりわかりやすく使いやすいものとした。また大幅な補強を行い、蔵書数は約 1,000 冊から 10,000 冊に増えた。

b) 展示コーナー等の運営

事業名	内容
テーマ展示	時事や時節を意識したテーマで、本との出会いや、関心の喚起を演出できる展示を行った。
小説をよもう展示	新たな作家や物語を手にするきっかけとなる展示を行った。
こども図書館展示	子どもの関心を喚起するような展示に加え、子育てに役立つ特集や、新事業「やまと絵本大賞」関連の展示も行った。
ティーンズ展示	ティーンズ世代ならではの話題をテーマに、読書への関心を喚起する展示を行った。装丁に着目したシリーズ展示「colors」など。
健康コーナー展示	気候変動や感染症予防といった時事に即したものなど幅広いテーマで実施した。また、健康コーナー前のベンチにて、行政との連動展示を継続中。
行政との連動展示	市の各課と協力し市の施策や取組を PR した。『大和市の災害史』刊行に合わせた展示など。
音楽配信	ナクソス・ミュージック・ライブラリーの音楽配信サービスを提供した。

c) 児童サービス

事業名	内容
家読を推進する事業	家読への関心や読書を推進するための事業を企画。「触れる地球ワークショップ」「夏休み読書チャレンジ！こども図書館で夏まつりごっこ！」「読み聞かせと折り紙教室」「親子 de 秋の図書館見学ツアー」「お正月も図書館へ行こう！～夢袋☆Dream～」の 5 事業で 27 回実施し、875 名の参加があった。

ブックスタート事業	市の4か月健診で実施した。コロナ感染拡大防止のため、読み聞かせや参加者への案内は休止しているが、絵本の紹介POPを作成するなどの工夫を行っている。1,866組参加、3,732冊配布。さらに今年度から「絵本のまち」新規事業として10月からセカンドブックも開始。シリウスでは191冊、3館合計で419冊配布した。
おはなし会・出張おはなし会の実施	図書館員、ボランティアによるおはなし会を本館、保育園で定期的実施した。計126回、1,985名参加(1回平均16名)。人数制限の緩和により、多くの子どもたちに本に親しむ機会を提供していく。
ブックリストの作成・配布	子どもの年齢に合わせた本を紹介する『ちいさな図書館vol.6 小学生向けブックリスト「わたしの家族 ぼくの家」』を作成、過去のリストと合わせて配布した。
こどもとしゃかんだよりの作成・配布	本や読書に関心を持ち、こども図書館をより知っていただくために発行し、配布した。年3回発行。
調べる学習地域コンクール開催	調べる学習の成果を発表する場として、「第5回大和市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催するとともに、講座を実施し子供たちの支援を行った。応募作品総数7,182点。
一日図書館員	図書館員の仕事を体験する機会を提供する。7/25(月)、29(金)、8/1(月)に実施。合計42名参加。
団体向け児童書リサイクルフェア	6/10(金)、図書館で不要となった児童書を団体に向けて提供した。43団体73名参加。
市民まつりへの出展	子ども読書活動推進会議との連携により実施する予定だったが、残念ながら引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。
読書フェスティバルへの参加	地域や学校とともに本や読書に親しむ場を提供する。11/18、サブホールで開催。読書感想文コンクールと図書館を使った調べる学習コンクールの入賞者の表彰を行った。
子ども読書活動推進講座	「読書感想文講座」など、読書活動を推進する講座を実施。百科事典の使い方を楽しく学べる「ひゃっか王からの挑戦状」なども開催した。
絵本のまち事業	新規3事業を実施「セカンドブック事業」「まちなか絵本スポット事業」、絵本コンクール「やまと絵本大賞」の開催に取り組んだ。次年度に向けてさらなる拡充を図る。

d) ボランティアの育成・連携

事業名	内容
おはなし会の協働	市が選定したボランティア団体との協働によるおはなし会を開催した。「おひげでだっこのおはなし会」(第1火曜日)、「みんなでたのしむおはなし会」(第2水曜日)、「親子で楽しむおはなし会」(第4水曜日)。
ボランティア育成	読み聞かせボランティアを育成する講座を実施した。入門編(全2回)、乳幼児編(全3回)、ブラッシュアップ編(全3回)、ストーリーテリング(全3回)の全11回開催し、計167名が参加。
ボランティア交流	読み聞かせボランティアやブックスタートボランティア同士が情報交換を行える会を開催した。10/3(月)読書推進ボランティアのつどい。10名参加。

e) 団体・学校向けサービス

事業名	内容
団体貸出	地域の機関や団体へ向けて資料の貸出を行った。図書34件、3,931冊、視聴覚15件、25点の貸出があった。新規の「まちなか絵本スポット」は20施設600冊の貸出だった。

学校貸出	学校へ向けて資料の貸出を行い、授業を支援した。計 13 件、449 冊の貸出。学校への連絡便巡回が始まり、利用しやすくなったことで昨年の約 2 倍の実績となった。
施設見学対応	学校からの施設見学を受け入れ、図書館について知っていただく機会を提供した。11 件、746 名。
職場体験等対応	感染症の状況改善に伴い大幅に増加した。11 件、122 名。

f) 健康情報サービス

事業名	内容
健康コーナーの運営	分類にとられない幅広い資料を収集し、分かりやすい配架を行い、健康や医療に関する資料や情報を提供した。
疾病別ラベル・出版年ラベルの貼付	1 冊ごとに「疾病別ラベル」と「出版年ラベル」を貼付した。
健康・医療に関するレファレンス	健康コーナーの情報では解決できなかった場合や、さらに情報が必要な場合は、調査の支援を行った。健康レファレンス 190 件受付。
健康イベント	健康や医療に関するイベントを企画した。健康テラス事業は 263 回実施、3,720 名参加。
認知症に関するイベント	人生 100 年推進課との連携事業、「小さなオレンジライトアップ」など、認知症について理解を深めるイベントを企画したほか、アルツハイマー月間に合わせた展示も行った。
健康情報サービスの発信	健康に関する情報提供や健康情報サービスを知っていただくために広報誌を作成、配布した
健康度見える化コーナー	健康度見える化コーナーを管理・運営した。

イ) 大和市立中央林間図書館

令和 4 年度事業計画書においては、市北部における読書拠点としての中央林間図書館の特色を活かし、様々な世代にとって魅力的な事業を展開する計画を定めました。この事業計画に基づいて各種の事業を実施し、図書館の利用促進および利用者満足度の向上を図りました。

a) 各種事業

i) 出張おはなし会

市民交流拠点ポラリスと連携したおはなし会を月 1 回開催しました。おはなし会を通して子どもたちが絵本に触れ合う機会を提供し、読書への関心を高めるとともに、図書館を利用するきっかけを作ることに努めました。

実施日	参加人数			備考
	子ども	大人	計	
4/23	14 人	12 人	26 人	
5/28	12 人	11 人	23 人	
6/25	13 人	8 人	21 人	
7/23	12 人	10 人	22 人	
8/27	12 人	12 人	24 人	
9/24	8 人	10 人	18 人	
10/22	13 人	15 人	28 人	
11/26	6 人	5 人	11 人	
12/24	17 人	13 人	30 人	クリスマススペシャル



1/28	15人	13人	28人	
2/25	12	11人	23人	
3/25	9人	7人	16人	
計	143人	127人	270人	

ii) カフェとの連携事業

隣接する星乃珈琲店との連携企画として、これまで行っていた「作家の机」「ブックレビュー」を継続するとともに、令和3年度に引き続き、星乃珈琲店絵画コンテストの受賞作品を館内に展示しました。今回はグランプリを受賞した作品を展示したことで、大型で見ごたえある作品が多く、利用者からも大きな反響がありました。

日付	会場	事業名	内容
5/31～8/31	館内フリースペース	星乃珈琲店絵画コンテストの受賞作品展示	星乃珈琲店絵画コンテスト受賞作品の中からグランプリの受賞作品を展示。
通年	星乃珈琲店内	作家の机	星乃珈琲店の利用者にふさわしい作家/テーマの本を展示。年4回展示替え。
通年	館内/星乃珈琲店内	ブックレビュー	星乃珈琲店の閲覧用図書の中から選定した図書のレビューを図書館で作成。星乃珈琲で印刷。年4回発行。

iii) 中央林間東急スクエア店舗との連携事業

商業施設内にある図書館という特色を活かし、2階店舗「無印良品」との連携事業を企画/開催しました。読み聞かせとワークショップという双方の特色を活かしたイベントとしたことで、子育て世代を中心に参加者からも好評をいただきました。地域社会への貢献という価値を共有できる企業とのコラボレーションを今後も継続していく計画です。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
4/23	東急スクエア2階	図書館バックをつくろう!	無印良品店舗内で図書館スタッフによる読み聞かせを行った後、印象に残った場面をマイバックに描いてもらうワークショップを開催。	8名
8/27	東急スクエア2階	使わなくなった靴下でどうぶつを作ろう!	無印良品店舗内で図書館スタッフによる読み聞かせを行った後、登場したどうぶつを使わなくなった靴下で作るワークショップを開催。	6名

iv) つる舞の里歴史資料館との連携事業

つる舞の里歴史資料館の企画展と連携したテーマ展示を実施。多くの利用者に地域の歴史に目を向ける機会を提供するとともに、両施設の利用促

進を図りました。

日付	会場	事業名	内容
1/2～1/31	館内メインエントランス/平台	企画展示「災害の歴史と防災のこれから～関東大震災から100年～」	大和市つる舞の里歴史資料館の企画展「大和市の災害の歴史」との連携事業として、大和市が刊行した「大和市の災害史」や大和市の防災に関する取り組みの紹介、関連図書などを展示や写真等を展示。

v) 健康関連講座

利用者にとって関心の高い健康関連のテーマを選定し、以下の講座を開催しました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
8/22	ポラリス	認知症キッズサポーター養成講座	小学生を対象に人生100年推進課主催で開催。図書館は寸劇・紙芝居・関連本紹介で協力。館内にスタッフ作成のオレンジランプシェードを展示。	5名
11/10	学習室	終活講座「終活どうでしょう」	大和市おひとりさま政策課の終活コンシェルジュを講師に迎えて終活講座を開催。	11名
3/11	ポラリス	食講座「時短×栄養！手間をかけずに健康食卓」	大和市健康づくり推進課の管理栄養士を講師に迎えて食に関する講座を開催。	17名

vi) 障害者支援施設との連携事業

「開館4周年記念品配布」令和4年4月1日～6日「障害福祉サービス事業所あるむ」で作成したちぎり絵付き手漉き和紙はがきを利用者に配布しました(1500個)。

vii) タブレット端末活用事業

タブレットによるデータベース利用促進のため、令和3年度より当館Facebookにて【データベースのご紹介】のページを立ち上げました。令和4年度は新たに導入した「フライヤー」の紹介を行いました。オリジナルキャラクターによるストーリー仕立ての紹介となっており、ターゲット層に関心を持って読んでもらえるような工夫を凝らしました。

b) 展示コーナー等の運営

月ごとにテーマを決め、メインエントランスと平台を使ったテーマ展示を

行いました。季節やトレンドを意識したテーマを選定し、利用者と本との出会いを演出するとともに、“図書館の顔”として来館者の目を引くような展示を心がけました。

また入口付近には 5themes と題したコーナーを設置し、タイムリーなテーマを 5 つ選定して短期間で展示を入れ替えることで、来館頻度の高い利用者にとっても常に新鮮な本と出会う機会を提供しました。

i) メインエントランス/平台/5themes 展示

月	場所	展示テーマ
4月	メインエントランス	わたしのお庭/図書館を巡って謎解き探検!
	平台	LIFE/こども読書週間/中央林間の歴史 / 5themes
5月	メインエントランス	図書館を巡って謎解き探検!
	平台	鳥 / 5themes
6月	メインエントランス	にちじょうのナゾ
	平台	修理本/干支もおりかえし / 5themes
7月	メインエントランス	つくる
	平台	Facebook あります / 5themes
8月	メインエントランス	納涼ライブラリー
	平台	夏の花 / 5themes
9月	メインエントランス	東急グループ創立 100 周年
	平台	ツルマとカマクラ/ 自殺予防週間 / 認知症 / 5themes
10月	メインエントランス	としょかん商店街
	平台	読書バリアフリー / 5themes
11月	メインエントランス	Speaking words of wisdom ひとりと向き合うために
	平台	絵画/5themes
12月	メインエントランス	あこがれのパリ
	平台	12月 / 5themes
1月	メインエントランス	災害の歴史と防災のこれから～関東大震災から 100 年～
	平台	5themes
2月	メインエントランス	5 テーマズリターンズ
	平台	ヒーロー / 5themes
3月	メインエントランス	和
	平台	時短×栄養! / 自殺予防週間 / 5themes

ii) 東急との連携事業

当館は東急系商業施設内にあることから、100 周年を迎えた東急グループと連携したテーマ展示を行いました。東急や大和市から提供していただいた長津田～中央林間駅間の開業当初の写真、東急関連図書、郷土資料担当が作成した年表などを展示し、東急とともに発展した中央林間の歴史をたどる展示となりました。利用者の反応も良く、熱心に見入る利用者が多数見られました。

c) その他

i) コロナ下で閉鎖していた学習室を開放

新型コロナウイルスの影響で閉鎖していた学習室を8/10より開放しました。学生を中心に開放を待っていた利用者も多く、また夏休み期間ということもあり、初日から多くの方に利用していただきました。

ii) 施設見学の受入れを実施

学校連携の一環として、大和市立緑野小学校と大和市立中央林間小学校の施設見学を行いました。両日とも、熱心に質問してくる児童が多く、意欲的で真面目に参加していただくことができました。今後も地域の学校との連携に注力していきたいと思えます。

ウ) 大和市立渋谷図書館

市南部地域に根差した様々な世代や背景を持つ利用者の読書活動拠点を目指し、各種事業を計画・実施しました。実施にあたっては、感染状況に応じて対策を講じ、安心・安全に参加していただくことを心掛けました。

a) 各種事業

i) おはなし会の開催

月2回（第1土曜日：乳幼児向け、第3土曜日：小学生向け）定例おはなし会を開催しました。また父の日に男性スタッフが中心となり読み聞かせを行うなど、スペシャル版おはなし会を季節ごとに開催し、読書活動や図書館をより身近なものと感じられるように努めました。

月	回数			参加人数			備考
	定例	そのほか	計	子ども	大人	計	
4月	2回	－	2回	18人	9人	27人	
5月	2回	－	2回	11人	7人	18人	
6月	2回	1回	3回	25人	17人	42人	春のスペシャルおはなし会
7月	2回	－	2回	18人	10人	28人	
8月	2回	1回	3回	28人	16人	44人	夏のスペシャルおはなし会
9月	2回	－	2回	16人	9人	25人	
10月	2回	1回	3回	21人	13人	34人	秋のスペシャルおはなし会
11月	2回	－	2回	20人	11人	31人	
12月	2回	－	2回	9人	4人	13人	
1月	1回	－	1回	10人	4人	14人	
2月	2回	1回	3回	18人	10人	28人	ぬいぐるみといっしょのおはなし会&おとまり会
3月	2回	－	2回	23人	13人	36人	
計	23回	4回	27回	217人	123人	340人	

ii) ティーンズ世代向け事業の実施

コロナ下のためイベントという形での実施はできませんでしたが、下福

田中学校の協力により生徒が作成した本の紹介 POP と図書の展示を実施しました。「子供の読書活動優秀実践校」として表彰された学校図書館の活動を知っていただく機会とし、今後中学校との連携を進めていくためのきっかけとなりました。

展示期間	会場	事業名	内容
3/1 ～3/31	図書館内	下福田中学校 生徒のおすすめ 本	学校図書館で展示している生徒が作成した本の紹介 POP を借用し、図書と一緒に展示

iii) 大人・シニア世代向けイベントの実施

電子図書館利用促進のため初心者向けの体験講座、脳の活性化を促すちぎり絵や回想法を用いたイベントを実施しました。また、会場には関連図書を用意して、興味を持ったことは図書館を利用してさらに広げていただけるようにしました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
6/29	渋谷学習センター310 講習室	ちぎり絵で うちわを作 ろう！	指先を使うちぎり絵を体験して脳の活性化を図り、これからの季節にぴったりなうちわを作る。	5人
12/14	渋谷学習センター310 講習室	はじめての 電子図書館	貸出・返却・検索の仕方など、電子図書館の初歩的な使い方を案内して体験してもらう講座。	7人
3/15	渋谷学習センター310 講習室	よみうり回 想サロン 第 4弾	昭和40年代の新聞記事やニュース映像を使った回想法により、脳の活性化を促進して精神的な安定をもたらす。	4人

iv) 認知症に関するイベントの実施

令和3年度福田南地域包括支援センターと合同で実施した「希望の手紙プロジェクト」に寄せられた、認知症への思いを綴った手紙と認知症関連資料を9月のアルツハイマー月間に合わせて展示しました。また、人生100年推進課と図書館3館の合同企画「ちいさなオレンジライトアップ」も実施しました。足を止めて真剣に手紙を読む方や関連資料を借りていく方がおり、より関心を持っていただく機会となりました。

日付	会場	事業名	内容
9/1 ～9/30	図書館内	希望の手 紙プロジ ェクト	福田南地域包括支援センターとの合同企画「希望の手紙」で寄せられた手紙や認知症関連資料展示を実施。

v) バリアフリー映画会の開催

バリアフリー映画「長いお別れ」を上映し、障がいをお持ちの方2名にご参加いただきました。映画の内容への反響のほか、「視覚・聴覚に障がいのある方が映画を楽しむことがいかに大変なのか知った」「もっと当事者にも参加してもらいたい」などのご意見もあり、バリアフリーへの理解を深める

ことができました。また、10月には図書館3館での合同展示「としょかんのやさしくよみやすい本～読書のバリアフリー～」を実施し、LLブックの展示と紹介を行いました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
9/22	渋谷学習センター多目的ホール	バリアフリー映画会	「長いお別れ」の上映。視覚や聴覚に障がいのある方に映画を楽しんでもらうとともに、障がい者の社会参加について考える機会とする。	47人

vi) 情報発信の充実

ホームページにお知らせやイベントのアーカイブ機能などを追加し、より利用しやすくリニューアルしました。Facebookでは写真を掲載してのイベント報告や、テーマに沿って本を紹介する投稿を定期的に行いました。また、FMやまとに担当者が出演して広報活動を行うなど、幅広い世代への情報発信を図りました。

b) 展示コーナー等の運営

i) 本のテーマ展示

毎月季節や企画に合わせたテーマで展示を行いました。6月・10月のティーンズ向け展示では、より読書への興味を持っていただけるように本の紹介POPを作成しました。また、やまとみらいカレッジの講座に合わせた関連図書展示などの特別展示を行いました。

月	場所	展示テーマ
4月	一般	読み逃していませんか？
	ティーンズ	朝活のすすめ
	児童	ウソ
5月	一般	鳥が好き♡
	ティーンズ	ここではないどこかへ
	児童	宝探し
6月	一般	ごみゼロ宣言
	ティーンズ	バズった本スタッフが読んでみた
	児童	おとうさんといっしょ
	特別	女性作家の生き方
7月	一般	少し不思議な話
	ティーンズ	プラネタリウム
	児童	うみへいこう
	特別	課題図書
8月	一般	写真を楽しむ
	ティーンズ	中学や高校の入試問題で使われた文学作品
	児童	宿題解決！夏休みにおすすめの本

	特別	課題図書
9月	一般	認知症のことをもっと知ろう
	ティーンズ	心の健康
	児童	じぶんをまもる本
	特別	ちいさなオレンジライトアップ／宇宙の現在・過去・未来
10月	一般	秋の夜長のミステリー
	ティーンズ	文豪に挑戦！
	児童	わるいことがしたい
	特別	としょかんのやさしくよみやすい本～読書のバリアフリー～
11月	一般	出会いとひろがるみらい
	ティーンズ	BOOK CAFE
	児童	音楽を楽しもう！
12月	一般	映画の原作
	ティーンズ	贈り物
	児童	ねむれないよるに・・・
1月	一般	徳川家康と江戸時代
	ティーンズ	くう・ねる・すむ
	児童	うさぎのほん
2月	一般	大和のことをもっと知ろう
	ティーンズ	ニャンともかわいい猫の本
	児童	科学えほん
3月	一般	音楽の世界
	ティーンズ	苦手科目克服！
	児童	へんしん
	特別	下福田中学校 生徒のおすすめ本

ii) 郷土写真の展示

大和市よりご提供いただいた郷土写真を地域資料コーナーに常設展示し、市南部地域の歴史を感じる場としました。また、2月の展示「大和のことをもっと知ろう」では郷土資料や大和市にゆかりのある図書の展示を行いました。

c) その他

i) 子ども向けイベントの実施

令和3年度大変好評いただいた謎解きイベント「ブッカー氏からの挑戦状」の第2弾を実施しました。同時期に実施した小田急電鉄と大和市内図書館3館の連携企画「小田急江ノ島線で行こう 図書館を巡って謎解き探検！

in 大和市」との相乗効果もあって、前回の3倍以上の方にご参加いただきました。また、「よみくじ2023」ではおみくじの結果に喜ぶ姿や、中身の絵本を楽しみに借りていく様子が見られました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
4/23 ～5/31	図書館内	ブッカー氏からの挑戦状 vol.2	館内にあるものや本を手がかりに謎解きをしながら、楽しんで図書館の使い方を知ってもらう。	158人
1/4 ～1/9	図書館内	よみくじ 2023	おみくじを引いて、対応した番号の中身が分からない絵本2冊1セットを貸出。貸出後には絵馬に願い事を書いて、図書館入口に掲示。	50人

## 2) 実施体制

計画の遂行にあたり、2期目のテーマのひとつである「(指定管理を行う文化社会教育施設)7館融合」を念頭に置き、各図書館・各部門が協力して業務を実施しました。絵本のまち新規事業の実施においては、運営会社のもつノウハウに加え、JV各社の人脈から絵本大賞の審査員を招聘するなど協力体制の好事例となりました。また、コロナ対策や予防策実施にあたっては、運営会社のネットワークを活かし、密な情報共有により、円滑に運営を行うことができました。

### ④ 利用規則

つきみ野図書室は、大規模改修工事の工期延長に伴い、令和5年4月9日(日)まで休館となりました。

感染対策のため図書館利用制限を以下の通り実施しました。

- ・大和市立図書館：催事参加人数および閲覧席数の制限を適宜実施しました。
- ・中央林間図書館：施設の営業時間臨時変更に伴い、通年20時閉館となりました。

## (3) 学習センター関連サービス

(対象施設：大和市生涯学習センター、大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター各地区学習センター)

### ① 基本方針

令和元年度から始まった、健康都市やまとMANABI計画(大和市生涯学習推進計画)に則り、市民一人ひとりにとって居心地のよい居場所の提供と様々な事業を通して学びや交流、育ちのサポートに努めました。事業の実施にあたっては、受講スタイルや広報手段の多角化に取り組みました。施設の運営にあたっては、安全・安心に利用できる環境を整えました。

### ② サービス提供に関する取り組み

公平・公正なサービスはもちろんのこと、以下の考えに則り、すべての利用者に学びの楽しさを提供できる施設を目指しました。



- 1) すべての人に「分かりやすい」施設を目指します。
- 2) すべての人に「利用しやすい」施設づくりを目指します。
- 3) すべての人に「やさしい」ホスピタリティあふれる施設を目指します。

学習センターを利用する人々が、必要とする情報を手にすることができるように、分かりやすい掲示に努めました。また、様々な世代の方へ情報を発信する手段として、引き続き情報誌「まなびの風」、メルマガ、Instagram による情報の配信も行いました。

講座については、オンライン講座を引き続き実施するとともに、会場での講座を別会場でも受講できるサテライト講座の実施も行い、多様な受講スタイルを選べるようにしました。

ご意見箱でいただいたご意見の中で、改善ができるものについては積極的に取り組み、利用しやすい施設運営に取り組みました。

(改善例)

- ・プレイルーム受付票の記入台について、子どもを抱いていても記載できるように別途高さのある台を準備。(北部文化・スポーツ・子育てセンター)
- ・図書閉室を知らせる音声放送について、301 集会室に放送が入らないように放送設備の設定変更を実施。(桜丘学習センター)
- ・くつを脱いで入る必要がある部屋の入口にマット設置。(渋谷学習センター)
- ・AED の設置場所案内掲出箇所の追加。(渋谷学習センター)

### ③ 事業報告

#### 1) 事業方針及び事業内容

##### ア) 貸館事業

大和市が管理する学習施設予約システムを活用し、利用条件・利用方法・支払方法に関しては、現状の大和市生涯学習センター条例及び施行規則に則り運営しました。

感染状況に応じ、大和市と相談のうえガイドラインの運用を行いました。

夏期は、エアコンの設定温度の変更、ロールカーテン、一部電気の消灯など節電対策に取り組みました。

また、北部文化・スポーツ・子育てセンターはワクチン接種会場として大和市からの指示に従い会場の提供をしました。利用ができなくなった利用者へは丁寧な対応を心掛けました。

##### a) 各学習センター共通

###### i) 施設の貸出手続業務

事業計画に則り行いました。

令和4年度は、登録団体のうち「国及び地方公共団体」「公共的団体」「市民等の団体」「市民以外の団体」「営利団体」の更新作業を行いました。

###### ii) 貸出手続きの流れ

事業計画に則り行いました。

iii) 経理業務と金銭管理

事業計画に則り行いました。

iv) 印刷室の運營業務

事業計画に則り行いました。

v) 職場体験等の対応業務

市内の児童、生徒の職場体験の受け入れに積極的に対応しました。また教員研修の受け入れ、社会教育主事を目指す学生の現場研修の受け入れも行いました。

(生涯学習センター)

- ・令和4年8月 相模原中等教育学校、柳橋小学校 教員研修受入
- ・令和4年9~10月 和光大学 社会教育実習受入
- ・令和5年1月 南林間中学校 職場体験受入
- ・令和5年2月 福田小学校 社会科見学受入

(北部文化・スポーツ・子育てセンター)

- ・令和4年8月 県立上鶴間高等学校、座間市立座間東小学校 教員研修受入
  - ・令和4年10月 緑野小学校 社会科見学受入
  - ・令和5年1月 南林間中学校 職場体験受入
- (桜丘学習センター)
- ・令和5年1月 渋谷中学校 職場体験受入
- (渋谷学習センター)
- ・令和4年6月 渋谷小学校 施設見学受入
  - ・令和4年11月 上和田小学校 施設見学受入
  - ・令和5年1月 渋谷中学校 職場体験受入

b) 生涯学習センター

i) 市民交流라운ジの運營業務

- ・1時間に1度職員が巡回し、防犯対策、利用者対応を行いました。また、入口のインターホンで利用者からの要望に速やかに対応しました。
- ・市民交流라운ジの混雑状況の配信をHP上で行いました。

ii) 市民交流スペース（ぷらっと大和）の運營業務

- ・引き続き、座席制限やアクリルパーテーションの設置を行いました。
- ・3月6日よりテラス席での食事を可能としました。
- ・混雑による密集状態を避けるため、HP上で混雑状況の配信を行いました。

c) 北部文化・スポーツ・子育てセンター

i) 市民交流スペースの運營業務

- ・引き続き、座席制限やアクリルパーテーションの設置を行いました。

- ・定期的な巡回を行い、マスクの着用、食事の禁止、座席の移動禁止の周知徹底を行いました。利用方法を間違えて使っている方には、職員が丁寧に説明し、理解を求めました。
- ・近隣、中学校の定期試験前には、学校と連携をして利用する中学生の注意指導を行いました。

ii) アリーナの運營業務

- ・ワクチン接種会場として、4月1日～8月31日、11月1日～1月31日の間、アリーナの個人利用が中止となりました。
- ・団体利用、個人利用共に、利用を予定していたにも関わらず利用ができなくなってしまったサークル・団体には、事情を丁寧に説明しワクチン接種に対するご理解をいただき、多くの団体が快くキャンセルに応じてくれました。

iii) プレイルームおよび親子交流サロンの運營業務

- ・プレイルームでは、不特定多数の未就学児、親子が利用するため、遊具、絵本等の消毒を徹底すると共に、利用者に健康チェックや密防止や人数把握のため、受付票の提出をお願いしました。
- ・土曜日、日曜日のこども～るエリア閉園時にプレイルームの有効的な活用として、おななしひろば「中央林間図書館」を開催しました。

d) 渋谷学習センター

i) ホールの運營業務

- ・市役所各課や地縁コミュニティによる催し、サークル・団体による成果発表の機会に対して準備段階から支援し、事前打合せにより未検討事項を洗い出し、当日のスムーズな進行に向けたサポートを行いました。

e) 各地区学習センター

i) ギャラリーの運營業務

- ・事業計画に則り実施しました。
- ・渋谷学習センターではギャラリーの位置が入口正面であることから個人募集の作品展、館内装飾等によるにぎやかしの演出を実施しました。

【つきみ野学習センター】

令和3年12月29日～令和5年4月9日大規模改修工事休館のため、作品展示はありませんでした。

【桜丘学習センター】

実施月	日数	団体名	展示内容	来館数
4月	7日	裂画の会	絵画	205人
4月	5日	マチエール	絵画	150人
5月	3日	桜陶会	陶芸	64人
5月	7日	写団さくら会	写真	254人
6月	2日	保健給食課	その他	40人

6月	4日	神奈川北央医療生活協 同組合大和支部	その他	158人
7月	7日	薔の会	絵画	113人
9月	7日	絵画サークルアトリエ	絵画	25人
9月	7日	桜彩会	絵画	282人
9月	3日	大和書道連盟	書道	86人
10月	6日	フォトクラブ写楽	写真	240人
11月	7日	明治大学校友会	その他	509人
11月	7日	こぶしの会	写真	163人
11月	7日	写団さくら会	写真	233人
12月	8日	サポートハウスワンピ ース	その他	468人
3月	5日	フォトクラブ竹の子	写真	51人
合計	92日			3,041人

【渋谷学習センター】

実施月	日数	団体名	展示内容	来館数
4月	6日	切り絵サークル	切り絵作品展	392人
5月	3日	渋谷仏像彫刻会	仏像作品	156人
6月	15日	保健給食課 えほんだな 小さな旅のスケッチク ラブ やまとみらい	健診 創作絵本 水彩画 館内装飾	343人
7月	9日	やまとみらい	館内装飾	0人
8月	12日	絵画教室つのもり 個人利用 やまとみらい	絵画・造形 絵 作品募集展示	375人
9月	21日	やまとみらい 大和市シニアクラブ連 合会 Y・P・Aひまわり	作品募集展示 絵画・書道・手芸 絵画	730人
10月	22日	やまとみらい 花みずきパッチワーク 切り絵工房「やまと」 きりえサークル 渋谷学習センターまつ り	館内装飾 パッチワーク作品 切り絵 切り絵 団体作品展示	980人
11月	27日	やまとみらい 絵画クラブ画夢人 千本桜切り絵同好会 クラブ和紙	館内装飾 絵画 絵画・写真・リース 切り絵	727人
12月	21日	クラブ和紙 やまとみらい 個人利用	切り絵 館内装飾 写真	484人
3月	16日	さわわ 文化振興課 やまと生涯学習ねっと わあくボランティア講 師の会	絵画 短歌・俳句・川柳 パッチワーク	992人
合計	152日			5,179人

ii) 保育室の運營業務

事業計画書に則り実行しました。

【つきみ野学習センター】

令和3年12月29日～令和5年4月9日大規模改修工事休館のため、保育室開放はありませんでした。

【桜丘学習センター】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	31	30	31	31	30	30	30	28	28	28	31	357
人数	27	27	37	52	41	23	25	12	19	7	34	26	330

【渋谷学習センター】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	30	29	30	30	29	29	29	27	27	27	30	346
人数	44	44	101	97	107	72	57	81	85	51	74	99	912

イ) 生涯学習事業

大和市が推進する「健康都市やまとMANABI計画」に則り、生涯各期他、各種事業を実施しました。目まぐるしく変化する社会に合わせて、オンライン講座の実施や、生涯学習事業として、これまでとは違った多種多様な事業を展開しました。

また、個人学習の場として、会議室を活用した学習室開放事業を引き続き行いました。

「学び」を通して市民や地域のつながりを意識し、コミュニティ、文化の発展を意識しました。

a) 会議室開放事業

i) 生涯学習センター

- ・土日や祝日を中心に、個人学習のために会議室を学習室として無料で開放しました。周辺の中学校や高等学校が定期テストや入試の時期には平日の午後も、積極的に開放しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	1	10	9	11	7	5	13	7	10	7	12	6	98
人数	4	250	264	335	42	48	248	92	314	92	246	44	1,979

ii) 北部文化・スポーツ・子育てセンター

- ・Room6, Room7は個人学習の場として、終日開放をしました。
- ・Room2は土日祝祭日を中心に、グループでの活動や個人学習など市民による多彩な活動のために、気軽に集え、交流できる場所として、市民開放をおこないました。また団体利用がない平日においても近隣の中学、高校と連携して、学力試験時期に適時開放しました。
- ・7月2日～7月10日は、参議院議員選挙の期日前投票所として利用をおこなったため、学習室開放を縮小して（Room7のみ）実施しました。

Room2

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	24	27	21	21	18	20	11	21	14	4	10	3	194
人数	67	195	190	139	45	84	148	295	102	2	177	23	1,467

Room6, 7

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	31	359
人数	485	1,454	1,607	1,139	1,256	1,269	1,560	2,219	1,451	1,374	2,081	880	16,775

iii) つきみ野学習センター

令和3年12月29日～令和5年4月9日大規模改修工事休館のため、学習室開放はありませんでした。

iv) 桜丘学習センター

・空き会議室を利用した学習室開放事業を行いました。個人学習のために学習室を積極的に開放し、誰もが気軽に利用できる学習の場を提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	31	30	31	31	30	30	28	28	28	28	31	355
人数	34	75	68	87	56	60	51	71	49	111	82	69	813

v) 渋谷学習センター

・ユースコーナーA・B・C・Dを個人学習及び読書推進のために無料で開放しました。

学習室開放

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	30	29	30	30	29	29	29	27	27	27	30	346
人数	109	277	393	237	245	418	305	445	241	348	371	114	3,503

大人読書開放

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	30	29	30	30	29	29	29	27	27	27	30	346
人数	12	11	6	17	36	42	77	47	36	41	43	45	413

b) 生涯各期に合わせた講座、現代的課題に関する講座の開催

仕様書に則り事業を展開しました。講座を通して市民による学びの循環を促すことを目的に、受講生によるサークル化の推進にも力を入れました。各館で複数のサークルが立ち上がりました。

生涯学習センターで昨年度行った「児童家庭教育学級ことばのチカラを上げる親トレ」終了後に参加者を中心に発足した実行委員と協力し、2月に「個性をつぶさない子育て～知ってみるとめ向き合おう」を実施しました。今後も市民との協働、市民の意見を取り入れた講座を開催していきます。

その他、大和市国際化協会や地域で活動するサークルとも協力しながら講座を実施し、地域との連携に力を入れると同時に、市民の成果発表の場としても活躍いただきました。

コロナ下ではじまったオンライン講座も、引き続き実施し、実施範囲を拡大

しました。やまとみらいカレッジでは、本会場とは別にサテライト会場を設け、映像を結んで実施しました。混雑した会場を嫌う方や近くの学習センターでの受講を望む方に好評でした。有料のオンライン講座ではオンライン上での申込、振込を可能としました。オンデマンド配信にも対応したため、日中仕事をしている現役世代などこれまで受講の機会が限られていた市民の方にも学ぶ機会の提供に努めました。通常の会場で行う講座の一部でも、オンライン配信との選択も可能にしました。講座の申込方法も、引き続き電話や窓口の他、オンラインでも可能としています。受講の利便性を高め、市民が気軽に参加でき、学ぶ機会を増やせる施策を実施しました。

### 《実施報告》

#### 生涯学習センター

区分	令和4年度 実施事業数／実施日数
乳幼児期	1事業／10回
青少年期	5事業／12回
成人期	5事業／14回
高齢期	2事業／9回
現代的課題	7事業／112回

#### 【乳幼児期】

##### 子育て応援オンライン講座

月	内容	参加者数
4月	親子で楽しく♪リズム体操	5人
5月	影絵おはなし会	17組 34人
6月	みんなで話そう我が子にぴったりの保育園・幼稚園との出会いかた	22人
7月	水遊びのおもちゃづくり	3人
8月	楽しいパペットランド	13人
9月	抱っこ疲れ解消&フェイスリフトアップヨガ	6人
10月	ハロウィンを楽しもう	中止
11月	赤ちゃんの事故予防と日常のてあて	4人
12月	クリスマス親子リズムあそび	8人
1月	お疲れリフレッシュ！ほっとハンドマッサージ	延期
2月	ベビーフードの選び方・かしこい使い方	5人
3月	親子で楽しく♪リズム体操	3組6人

#### 【青少年期】

事業名	回数	参加者数
失われた古代文字「ヒエログリフ」のナゾを追え！	1回	14人
小学生なつやすみ体験講座 2022 ①自分の名字と由来について知ろう ②大きな紙でトリケラトプスを折ろう ③浴衣を着てみよう ④世界とつながろう～外国にルーツのある人にインタビューしてみよう～ ⑤エコ布でお花をつくろう	5回	78人

どうする？子どものスマホ～親が知らない今どきのスマホ事情とトラブル回避法	1回	8人
家庭教育学級「個性をつぶさない子育て～知って みて めて 向き合おう」	3回	77人
とことん大豆体験 親子でとうふ・おから味噌づくり	2回	23組 46人

【成人期】

事業名	回数	参加者数
食の手しごと 春編	2回	47人
冷え知らずになる3つのヒント	3回	64人
これからの鉄道旅 ※オンライン併用	3回	143人
パラレルキャリアのつくりかたー副業・兼業時代をゆたかに生きる ※オンライン	3回	21人
プロのガイドから教わる、ゆる登山入門 ※オンライン併用	3回	149人

【高齢期】

事業名	回数	参加者数
いきいきシニアセミナー	4回	112人
はじめてでも楽しめる！みんなでオカリナ♪	5回	94人

【現代的課題】

事業名	回数	参加者数
選挙に行こう！～知って得する、選挙の裏表～	2回	45人
世界とつながろう ①外国人の子育て術 ②中国&タイの食べ物 ③わたしにとっての家族	3回	74人
3Dプリンター開放事業	4回	11人
大和市域の「正月」と「盆」から考えるーいわゆる「砂盛り」習俗の事例を中心にー	1回	29人
全国城巡り～第1弾関東編 ※オンライン併用	3回	118人
被災したあなたを助けるお金とくらしの話～災害に備えて知っておきたい支援制度～	1回	19人
学習室開放事業	98回	1,979人

北部文化・スポーツ・子育てセンター

区分	令和4年度 実施事業数/実施日数
乳幼児期	4事業/26回
青少年期	2事業/6回
成人期	2事業/4回
高齢期	3事業/17回
現代的課題	5事業/368回

【乳幼児期】

事業名	回数	参加者数
おはなしひろば「ポプラ」	11回	156人
おはなしひろば「中央林間」	12回	270人
パパ&ママとあかちゃんのすこやか講座	2回	52人
自然ふれあいあそび～ふしぎなものに目をみはり豊かな感性を育む～	1回	31人



【青少年期】

事業名	回数	参加者数
あそび塾Ⅱ	5回	72人
クリスマス入浴剤づくり	1回	43人

【成人期】

事業名	回数	参加者数
健康講座 お口の健口体操の輪「口は命と笑顔の元」	3回	17人
話のプロに学ぶ「心地良いコミュニケーション」	1回	21人

【高齢期】

事業名	回数	参加者数
健康講座 楽しく続けよう！「ポラリス健康体操」	15回	242人
いきいき園芸ライフ～癒しのガーデニング講座～	1回	11人
チアダンスで家族みんな心も体も元気になろう！	1回	7人

【現代的課題】

事業名	回数	参加者数
放課後ルーム	6回	66人
防災を意識した整理収納	1回	24人
ちぎり絵ワークショップ	1回	21人
オリジナル缶バッジのワークショップ	1回	123人
学習室開放事業	359回	18,242人

つきみ野学習センター

区分	令和4年度 実施事業数／実施日数
乳幼児期	1事業/3回
青少年期	1事業/11回
成人期	1事業/2回
高齢期	1事業/2回
現代的課題	1事業/1回

【乳幼児期】

事業名	回数	参加者数
オンライン保育室秋・冬組 ※ポラリスで開催	3回	13人

【青少年期】

事業名	回数	参加者数
シリウスこどもボードゲームクラブ ※生涯学習センターで開催	11回	109人

【成人期】

事業名	回数	参加者数
ナイアガラムーンがまた輝けば～大瀧詠一ストーリー その1・その2 ※生涯学習センターで開催	2回	78人

【高齢期】

事業名	回数	参加者数
健康講座「甘酒、いろいろ」	2回	42人

※生涯学習センターで開催		
--------------	--	--

【現代的課題】

事業名	回数	参加者数
図鑑はすごい！ ※生涯学習センターで開催	1回	32人

※大規模改修工事休館中のため、すべての講座を生涯学習センターと市民交流拠点ポラリスにて、また、オンライン講座は市民交流拠点ポラリスと渋谷学習センターにて開催した。他館で開催することにより、各館との連携を密に行い開催する事で、自館開催時と比べ、幅広い地域の方へ講座開催のアプローチができ、それぞれの開催館の地域の方の参加が多く、受講者の幅が広がった。

桜丘学習センター

区分	令和4年度 実施事業数／実施日数
乳幼児期	3事業／364回
青少年期	2事業／5回
成人期	1事業／1回
高齢期	1事業／1回
現代的課題	6事業／390回

【乳幼児期】

事業名	回数	参加者数
すくすく広場（保育室開放）	357回	330人
ちえりるんのへや	6回	59人
子育てパパが未来を変える！ ～男性の育児がもたらすメリット～	1回	4人

【青少年期】

事業名	回数	参加者数
わたしの☆ぼくの宝物～つくって楽しむ紙芝居～	3回	27人
夏休みものづくり教室	2回	45人

【成人期】

事業名	回数	参加者数
お家を彩るロスフラワーのワンポイントリース ワークショップ	1回	20人

【高齢期】

事業名	回数	参加者数
シニアセミナー 顔も身体も運動不足！？ ～ほぐして動かしてリフレッシュ～	1回	26人

【現代的課題】

事業名	回数	参加者数
みんなあつまれ！ちえりるんのおはなし会	12回	85人
桜丘おもちゃ病院	11回	75人
防災講座 避難場所を体験しよう	1回	13人
はじめての手話入門講座	10回	108人
学習室開放	355回	813人
やまとみらいまつりオリジナル缶バッジのワーク ショップ	1回	17人

渋谷学習センター

区分	令和4年度 実施事業数／実施日数
乳幼児期	5事業／388回
青少年期	1事業／4回
成人期	1事業／1回
高齢期	1事業／1回
現代的課題	10事業／714回

【乳幼児期】

事業名	回数	参加者数
あゆびす～AYUBIS～（保育室開放）	346回	912人
英語で遊ぼう！ Story Time（ストーリー・タイム） Enjoy the Rainy Season！	1回	23人
英語で遊ぼう！ Story Time（ストーリー・タイム） Join us！	3回	79人
親子でおはなし会	18回	197人
ばあばのおはなしの部屋	20回	230人

【青少年期】

事業名	回数	参加者数
健康都市大学 令和4年度 子ども科学講座 体験しよう♪ 科学っておもしろい！	4回	73人

【成人期】

事業名	回数	参加者数
健康都市大学 今こそ聞きたいお金の話 「ライフプランと資産形成」	1回	27人

【高齢期】

事業名	回数	参加者数
健康都市大学 十人十色 ボランティアの始めかた	1回	11人

【現代的課題】

事業名	回数	参加者数
読書推進学習交流「大人読書開放」	346回	413人
学習室開放事業	346回	3,503人
健康都市大学 リアル避難場所体験 水害編〈学習コース〉	1回	13人
リアル避難場所体験 水害編〈いってみようコース〉	1回	16人
やまとみらいまつり オリジナル缶バッジのワークショップ	1回	28人
ウィンターコンサート高座渋谷V o l . 4 音楽でめぐる世界周遊の旅	1回	163人
健康都市大学 演劇ワークショップ 「わたし」から「あなた」へ「わたし」で「うけとる」	2回	21人
スタジオで演奏してみませんか♪	12回	113人
やまとみらいまつり「ちぎり絵で作る大和の風景」	1回	8人
高座渋谷シアター 「黄金のアデーレ 名画の帰還」	3回	50人

c) 地域や利用者と密接に連携した講座の開催

地域への社会教育活動を行っている団体と協力して事業を行いました。

区分	令和4年度 実施事業数／実施日数
----	---------------------

北部文化・スポーツ・子育てセンター	3事業／18回
つきみ野学習センター	1事業／4回
桜丘学習センター	2事業／19回
渋谷学習センター	0事業／0回

【北部文化・スポーツ・子育てセンター】

放課後ルームは令和4年度から地域のNPOと協力して実施しました。

事業名	回数	参加者数
おはなしのひろば「ポプラ」	11回	156人
放課後ルーム	6回	66人
あわてんぼうのクリスマス会	1回	53人

【つきみ野学習センター】

子育てサポートネットは、地域のボランティアの方にご協力いただき実施しました。地域の子育て中の親子の情報交換・交流の場となると同時に、乳幼児期事業に参加するきっかけになりました。

事業名	回数	参加者数
子育てサポートネット オンライン保育室ほっと☆のびのび	4回	28人

【桜丘学習センター】

当館に登録の社会教育関係団体「双和会」の会員にて「手話講座」を実施しました。

また、地域の方々とのコミュニケーションの場として、2階受付窓口前ロビーにて季節ごとに掲示板展示イベントを開催しました。季節の催しなどをテーマとして取り上げ、利用者と当館スタッフ及び市民の皆さまの交流の場となりました。

事業名	回数	参加者数
はじめての手話入門講座	10回	108人

(季節ごとの掲示板展示イベント)

テーマ	期間	参加者数
枯れ木に花を咲かせましょう ～最近あった嬉しかったこと、身近な人への感謝の気持ち、この春頑張りたいこと～	3/4～4/21	115人
連携特別ロビー展 ヒエログリフでちえりるんの好物を読み解こう！	4/1～4/30	33人
天までとどけ！将来の夢	5/4～5/30	64人
七夕の短冊に願い事を託してみませんか？	6/28～7/8	91人
わたしの☆ぼくの宝物～つくって楽しむ紙芝居～	8/2～9/15	展示のみ
ハロウィンと言えばかぼちゃ！あなたの好きなかぼちゃ料理は??	10/1～31	134人
ちえりるんからの挑戦状 3つのワードを探し出せ！	11/1～11/30	47人
今年のクリスマス何がしたいかな？	12/1～12/25	167人
あなたの好きな「おもち」を教えて!!	1/4～1/26	390人
合計		1,041人

【渋谷学習センター】

地域の盆踊りへの参加を目指していたが、コロナ下のため盆踊りが中止となり、開催はありませんでした。

d) 専門性のある講座の開催

学識経験者や有識者、専門家など優れた知見を有する方々を講師に向かえ、市民の皆様がより専門的な知識を学ぶことができる場を「やまとみらいカレッジ」として開催しました。

《実施報告》

生涯学習センター

区分	令和4年度 実施事業数／実施日数
専門性のある講座 (やまとみらいカレッジ)	3事業／15日

事業名	回数	参加者数
女性作家の生き方ー変化の時代を生き抜く ※サテライト会場：ポラリス、渋谷学習センター	5回	238人
地図を読む・地図が語る	5回	207人
食の未来を支える技術	5回	84人

各地区学習センター

区分	令和4年度 実施事業数／実施日数
専門性のある講座 (やまとみらいカレッジ)	3事業／15日

学習センター	事業名	回数	参加者数
つきみ野学習センター	歌舞伎指導者に聴く「歌舞伎の魅力」 ※ポラリスにて開催 サテライト会場 生涯学習センター	5回	168人
桜丘学習センター	宇宙の現在・過去・未来 ※サテライト会場：渋谷学習センター 生涯学習センター	5回	121人
渋谷学習センター	建築史 ピラミッド ※サテライト会場：生涯学習センターポラリス	5回	348人

e) やまとこども市民大学の開催

子どもが自らの将来や職業選択への興味・関心をかきたてる事業として、子どもたちにも人気のカプセルトイの企画立案、商品化について学びました。

《実施報告》

生涯学習センター

区分	令和4年度 実施事業数／実施日数
やまとこども市民大学	2事業／2日

事業名	回数	参加者数
新たな宇宙開発に迫る～宇宙飛行士の仕事とこれからのロケット～ ※オンライン	1回	29人

弁護士ってどんなお仕事？	1回	8人
--------------	----	----

f) 生涯学習関連事業の開催

生涯各期や現代的課題など市の指定事業では実施ができない、市民の関心が高い講座を数多く実施し、市民の学びのきっかけを作ることに力を入れました。

《実施報告》

生涯学習センター

区分	令和4年度 実施事業数／実施日数
生涯学習関連事業	16事業／61回

事業名	回数	参加者数
名演で味わうクラシック音楽史 ピュアオーディオで堪能するクラシック	1回	35人
人類の新たな月面開発に迫る～月のお話と春の星座ツアー～	1回	7組 17人
押し花で伝える心の愛～言葉では伝えきれない想いをお花で～	1回	19人
アナログレコードでジャズを楽しむ	4回	139人
美術館をめぐる旅 Part1～3	12回	380人
スロー動画で見る 昆虫たちの知られざる世界	1回	45人
親子で楽しむ押し花アート	1回	11人
水墨画への誘い	18回 ※うち1回台風で中止	216人
今読むべき世界の名著③「学問のすゝめ」～男女の平等を考える～	1回	19人
古文書から大和の歴史を訪ねる	3回	94人
ちぎり絵で作る大和の風景	1回	17人
やまとみらいまつり「ちぎり絵体験ワークショップ」	2回	52人
音楽の都ウィーンで育まれた美しい調べ	4回	171人
戦国覇者、徳川家康とは何者か！？	3回	130人
江戸楽アカデミー 江戸観光の楽しみ方あれこれ ※メイン会場：渋谷学習センター サテライト会場：生涯学習センター	3回	86人
初めての方でも上手に描ける鉛筆スケッチ講座	6回	103人

g) 生涯学習情報等の提供

事業計画に則り行いました。

h) やまと生涯学習ねっとわあく制度の運用

事業計画に則り行いました。以下の講座では、登録講師の活用も行い、地元の人材活用と制度の活性化に取り組みました。

【生涯学習センター】

講座名	実施日	講師名
子育て応援オンライン講座	12/20	工藤奈保美氏

小学生なつやすみ体験講座 2022		
①自分の名字と由来について知ろう	7/25 7/25	山本通晴氏 亦部隆子氏 竹村さとみ氏 荒谷留架氏
②大きな紙でトリケラトプスを折ろう	7/29 8/1	
③浴衣を着てみよう		
④世界とつながろう～外国にルーツのある人にインタビューしてみよう～	8/3	鈴木澄子氏
⑤エコ布でお花をつくろう		

i) どこでも講座の調整業務

事業計画に則り行いました。

j) 生涯学習情報誌の発行業務

事業計画に則り行いました。

k) 団体サークル化

講座の受講を通じて同じ趣味や関心を持つ人々をつなげ、主体的に学習が続き、あらたな地域とのつながりをつくるために、サークル化をサポートし市民の継続的な学習を支援しました。

【生涯学習センター】

講座実施月	講座名	新規サークル名
R3.10～R4.3	リラックスアロマヨガ	アロマヨガ

ウ) 地域活性化事業

市民が主体となって行う事業をサポートすることで、地域の文化を育む「学びの循環」に力を入れました。

a) 生涯学習センターまつりの開催

団体にとってこれまでの学習成果を発表する場である「学習センターまつり」は、コロナ下のため中止とした学習センターもありましたが、感染状況を見ながらそれぞれ開催の可否を判断しました。

i) 生涯学習センター

開催日：令和5年3月4日（土）、5日（日）

- ・ ところ：シリウス 1F サブホール、ギャラリー、6F 会議室等
- ・ 参加団体 25 団体
- ・ 参加者数 2,299 人
- ・ 今年度は第 35 回ということで、実行委員で話し合いが行われ、サークル同士のコラボレーション演奏、6 階特設ステージでの演奏・体験、プレゼントの配布が提案された。実行委員会と協力して開催を盛り上げることができた。

ii) 北部文化・スポーツ・子育てセンター

- ・ 開催日：令和4年10月22日（土）、23日（日）
- ・ ところ：ポラリス、Room1,2,3,8、親子スペース、アリーナ
- ・ 参加団体： 15 団体

・参加者数： 2,799 人

iii) つきみ野学習センター

令和 3 年 12 月 29 日～令和 5 年 4 月 9 日大規模改修工事休館のため、開催はありませんでした。

iv) 桜丘学習センター

・開催日：令和 4 年 11 月 19 日（土）、20 日（日）

・ところ：桜丘学習センター全館

・参加団体：19 団体

・参加者数：1,604 人

・第 36 回を迎えた今年度は「小さな輪 集まれ つながれ 希望の和」をテーマとして開催した。コロナ前の参加団体数には及ばないものの、昨年度からは倍増となり、好天の中多くの来場者に観覧いただいた。

v) 渋谷学習センター

・開催日：令和 4 年 10 月 29 日（土）、30 日（日）

・ところ：1F ギャラリー、2F 多目的ホール、3F 会議室等

・参加団体 32 団体

・参加者数 1,314 人

・日頃の成果を披露する催しに加え、新たな試みとしてサークルの垣根を超えた発表も行われ、実行委員同士の交流も深まった。

b) 地域文化振興事業の開催

【北部文化・スポーツ・子育てセンター】

i) やまと芝居小屋

・開催日：令和 5 年 3 月 12 日（日）

・ところ：渋谷学習センター多目的ホール

・参加団体：7 団体

・参加者数：175 人

・練習場所、本番会場の確保が困難になったことから令和 3 年度に引き続き、渋谷学習センター多目的ホールでの開催となった。

ii) あわてんぼうのクリスマス会

・開催日：令和 5 年 12 月 3 日、17 日

・ところ：北部文化・スポーツ・子育てセンター

・参加団体：3 団体（ベル・アデルコ、人形劇団りんぶん座、人形劇団クッキー）

・参加者人数：53 人

・地域で活動を行なう、サークル、団体に協力していただき、団体活動の発表場も提供した。

【桜丘学習センター】



i) さくらの音楽会

昭和ブギウギ★SHOW-TIME! ~日本語ジャズをウクレレで~

- ・開催日：令和4年10月15日（土）
- ・ところ：桜丘学習センター
- ・出演者：ウクレレ/歌：りか氏、ピアノ：大橋祐子氏、パーカッション：高橋延吉氏
- ・参加者数：55人
- ・昭和歌謡をテーマにした楽曲を中心に、ウクレレ、パーカッション、ピアノ、ボーカルによる懐かしの名曲を多くの皆様に楽しんでいただいた。

【渋谷学習センター】

i) アマチュア・クラシックコンサート

- ・開催日：令和4年10月16日（日）
- ・ところ：渋谷学習センター 2F 多目的ホール
- ・参加者：120名
- ・大和市近在のアマチュア演奏家により、実行委員会形式にて開催した。  
出演者・来場者いずれも幅広い年齢層が集まった。

ii) 渋谷素人演芸大会

- ・開催日：令和5年3月5日（日）
- ・ところ：渋谷学習センター 2F 多目的ホール
- ・実行委員：31人
- ・出演者：17組（団体：14、個人：3）、85人
- ・参加者：254名
- ・公募により集まった実行委員と共に幅広い演目を観覧できる機会を提供することができた。

iii) 湘南軽音楽フェスタ

- ・開催日：令和4年9月18日（日）
- ・ところ：渋谷学習センター 2F 多目的ホール
- ・参加者：91名
- ・県立大和南高校軽音部を招致し、出演者・来場者いずれも幅広い年齢層が集まる機会となり、多世代交流が育まれた。

c) 利用者懇談会等の開催

事業計画に則り行いました。

施設名	日付	参加者数	内容
生涯学習センター	6月19日	9団体 11名	利用者懇談会 生涯学習推進説明会 ※貸出倉庫調整会は調整不要となったため中止
北部文化・スポーツ・子育てセ	12月18日	4団体 5名	利用者懇談会 生涯学習推進説明会

ンター			※貸出ロッカー、倉庫調整会は調整不要となったため中止
つきみ野学習センター			利用者懇談会 生涯学習推進説明会 団体サークル倉庫会議 令和3年12月29日～令和5年4月9日大規模改修工事休館のため、開催なし
桜丘学習センター	3月12日	30団体 36名	利用者懇談会、生涯学習支援制度説明会、貸出倉庫利用者調整会
渋谷学習センター	4月23日	13団体 18人	利用者懇談会 生涯学習推進説明会 ※貸出倉庫調整会は調整不要となったため中止

d) 生涯学習の推進に寄与する団体支援業務

学習センターの利用団体が、学習成果の市民への還元を目的に事業を行うことを支援する「まなびの輪支援事業」を積極的に行い、「学びの循環」を推進しました。

【生涯学習センター】

事業名	団体名	回数	参加者数
やまと子どもミュージカル体験ワークショップ	やまと子どもミュージカル	2回	36人
ひょうたんランプの作品展と製作体験	切り絵工房やまと		中止
歴史講座天照大神は男だった？	生涯教育研究会LIE	6回	94人
第17回にほんごで話そう！日本語スピーチ大会	大和市国際化協会	1回	70人
中国映画観賞会	大和地区日中友好協会		中止
秋季講演会「日本と中国の今後」	大和地区日中友好協会	1回	28人
人物デッサン会	大和美術協会	1回	23人
太極拳体験会	楊名時太極拳大和教室	1回	1人
民謡民舞の体験会	大和民謡民舞協会	1回	90人
源氏を読む会無料体験講習会	やまとで源氏物語を読む会	1回	8人
ウクレレの演奏と講演	大和地区日中友好協会	1回	28人

【北部文化・スポーツ・子育てセンター】

事業名	団体名	回数	参加者数
日本の神話を読み直す	生涯教育研究会LIE	6回	119人
詩吟体験・講習会	紫岳会大和	1回	21人
野鳥の木彫り体験教室	とりつくろう会	1回	3人
ラージボール卓球をやってみよう	ラージ大和クラブ	3回	67人

【つきみ野学習センター】

令和3年12月29日～令和5年4月9日大規模改修工事休館のため、開催はありませんでした。

【桜丘学習センター】

事業名	団体名	回数	参加者数
第2回桜丘落語演芸会	大和落語演芸倶楽部	1回	51人
写団さくら会体験入会	写団さくら会	3回	4人
社交ダンス初心者講習会	大和市ダンススポーツ アマチュア選手会	4回	26人
第5回油絵体験（みんなで 描く一枚の絵）	薔の会	7回	36人
社交ダンス初心者無料講習 会	大和SDC	2回	4人
ミシンを使って小物を作ろ う	ぬうぬうくらぶ	1回	5人
和に親しむ 着物の仕立て を通じて	絹の会	3回	6人
句会体験会	大和市俳句協会	1回	6人
遺品整理人に聞く～おひと りさまの備え方～	デイライト	1回	24人
さわやか社交ダンス無料講 習会	さわやかダンスクラブ	6回	24人
さつき句会体験会	さつき句会	3回	4人

#### 【渋谷学習センター】

事業名	団体名	回数	参加者数
ゆかたの着付け体験	渋谷和装の会	1回	0人
YSM チアダンスヒップホッ プ交流会	特定非営利活動法人 やまとスポーツマネジ メント	4回	367人
第1回渋谷落語演芸会	大和落語演芸倶楽部	1回	100人
切り絵作りの体験と作品展	切り絵工房「やまと」	3回	295人
おやこ★クリスマス★コン サート	光中地区家庭・地域教育 活性化会議	1回	37人
クリスマス&忘年歌声の会	音楽クラブ	1回	63人
第7回木曜しぶや寄席	やまと噺の会	1回	105人
第18回 健康と文化のつど い	神奈川北央医療生活協 同組合大和支部	2回	102人
太極拳無料体験講習会	渋谷太極拳クラブ	4回	13人
社交ダンス初心者無料講習 会	渋谷ダンスサークル	3回	27人
IKOZA 活動発表会	やまと生涯学習ねっと わあくボランティア講 師の会	1回	50人
春のミニコンサート	生涯教育研究会 LIE	1回	179人

#### e) 周年事業

11月3日にシリウスの周年祭りを行いました。オープニングセレモニーでお披露目する「ちぎり絵で作る大和の風景」の屏風を作るワークショップを生涯学習センター他、ポラリス、渋谷学習センターで開催し、11月3日にお披露目しました。また、当日は参加者にちぎり絵を体験してもらうワークショップを開催しました。

この日はやまとみらいまつりとして、生涯学習センターの他、市内学習センターも一緒にお祝いイベントを開催、オリジナル缶バッチ作り、スタンプラリー式のビンゴゲームを実施しました。

北部文化・スポーツ・子育てセンターは、8月1日の開館記念日にあわせて「ポラリスサマーイベント」を実施、夏休みを利用して普段利用の少ない小学生とその親子を対象に家族や友達同士で参加しやすい講座を開催しました。

また、「シリウス屋内こどもひろばがやってくる」では、JV構成企業である屋内こどもひろば（株明日香）と株ポーネルドと連携を図り、講座を開催いたしました。

【北部文化・スポーツ・子育てセンター サマーイベント】

事業名	回数	参加者数
夏の植物大研究！多肉植物っておもしろい	1回	10人
夏にみたい星空のはなし	1回	35人
新聞編集委員とつくるSDGs新聞	2回	6人
シリウス屋内こどもひろばがやってくる	4回	54人

f) 団体との協力

講座を実施するにあたり地域で活動する団体・サークルと協力して開催しました。

【生涯学習センター】

- ・影絵グループ 夢
- ・人形劇団「りんぶん座」
- ・人形劇団「クッキー」
- ・ぷるるんフルーツ

【北部文化・スポーツ・子育てセンター】

- ・NPO 法人ワーカーズコレクティブ・チャイルドケア
- ・おはなしグループ「ポプラ」
- ・ベル・アコルデ
- ・人形劇団「クッキー」
- ・人形劇団「りんぶん座」

【桜丘学習センター】

- ・やまと絵本の会ソレイユ
- ・双話会

【渋谷学習センター】

- ・サークルしゃぼんだま
- ・よみよみの会
- ・Story Time (ストーリータイム)

g) その他

8月6日（土）～9月11日（日）「大和市鉄道3社合同イベント」スタンプラリーの会場としてイベント観光課と連携、クイズの内容の説明、キーワードの設置、スタンプラリーの用紙の配架等を実施しました。

## 2) 実施体制

事業計画に則り行いました。

### ① 利用規則

つきみ野学習センターは、大規模改修工事の工期延長に伴い、令和5年4月9日(日)まで休館となりました。

・学習センターにおける感染対策のための利用制限について以下の通り緩和しました。

7月1日 調理を伴う活動の制限解除

11月1日 会議室利用時の食事制限解除

1月4日 ガイドライン緩和(会議室利用時の消毒廃止等)

3月6日 ガイドライン廃止

・ワクチン接種会場のため以下の通り対応しました。

北部文化・スポーツ・子育てセンター：

令和4年4月1日～8月31日 アリーナ利用中止

令和4年11月1日～令和5年1月31日 アリーナ利用中止

・期日前投票のため以下の通り対応しました。

北部文化・スポーツ・子育てセンター：令和4年7月2日～10日 Room6 利用停止

渋谷学習センター：令和4年7月1日～13日 情報スペース使用

・投票所開設のため以下の通り対応しました。

桜丘学習センター：令和4年7月10日 202 講習室利用停止

## (4) 屋内こども広場関連サービス(対象施設：大和市屋内こども広場)

### ① 基本方針

大和市屋内こども広場(以下、こども広場という)は、第二期大和市子ども・子育て支援事業計画「ハートンプラン」の基本理念を促進するため、すべての子どもの健やかな成長を支えあうまち・やまと～地域と共に安心して子育て・親育ち～の実現を目指し運営にあたりました。

また、妊娠・出産、育児まで切れ目のない支援を行うことで、安心してこどもを産み育てることができる環境、及び地域や行政担当機関とも連携し皆様に見守られながら健やかに育つ環境づくりに取り組んで参りました。その結果、大和市民を中心に、地域の中で愛される屋内こども広場となり、皆が豊かに育ちあうことのできる居場所を提供することができました。

○希望する幼児期の教育・保育が受けられる体制づくり

こども広場の利用者が、文化芸術や生涯活動をする際に安心してこどもを預けられる施設を築くことができました。また、子育てに関する悩みやこどもの健康について気軽に相談できる体制を整え、子育てに関するさまざまな悩みの解消に繋げるこ

とができました。

#### ○親育ち・地域の子育て力を育む基盤づくり

子育て世代の親と子どもが集う環境を整備し、親子の交流に加えて、親同士、子ども同士の交流を促しました。その結果、親子の絆を深めることができ、また子ども同士の社交性やコミュニケーション能力の向上に繋げることができました。その他、地域の子育て支援者の育成にも力を入れ、地域の子育てを育む基盤を築くことができました。

#### ○安心して産み育てやすい環境づくり

妊娠、出産、乳幼児期、小学生のライフステージごとに切れ目ない支援により、育児に対する不安や悩みの解消に繋げ、安心して産み育てやすい環境を築くことができました。

また、さまざまな専門講師のイベントを開催し、子育てを楽しんで取り組める環境も築くことができました。

#### ○子どもの生きる力をのばす環境づくり

日常のあそび場・子育ての場である子ども広場において、さまざまな遊びやイベントなど、数多くの体験できる場を創出し、子どもの生きる力をのばす環境を整えました。

#### ○さまざまな家庭の状況に応じた支援体制づくり

子どもへの対応と運営にあたっては、子どもの権利条約を尊重し、子どもの最善の利益を考えて行動し、行政機関と連携を取りながら様々な家庭環境に応じた適切な相談支援がらできる体制を整えました。

### ② サービス提供に関する取り組み

受付業務・プレイリーダー・保育士各部門においての連携を軸に、利用者一人一人に寄り添った行動を心がけ、「また来たい」「利用したい」と思ってもらえる施設を目指しサービス強化に取り組みました。

#### 1) 利用者との日常のコミュニケーション

##### ア) 親しみやすい雰囲気

気軽に立ち寄れ、繰り返し利用してもらえる施設を目指し、スタッフ一人一人がホスピタリティ溢れる親身な対応を心掛けて利用者に向き合ってきたことで、誰からも親しみやすい施設を築くことができました。

##### イ) 小さなことでも積極的・具体的に褒める

子どもの行動をよく観察しほめる対象を見つけたら、積極的且つ具体的に褒めることを習慣づけました。褒めることにより、子どもの笑顔や自己肯定感を引き出すきっかけを作ることができました。

##### ウ) 広場のコミュニケーションを活性化

親子や子ども同士、また親同士と一緒に活動できる場として、親子参加型のイベントや親同士の交流を目的とした講座を設け、コミュニケーションの活性化

を図りました。

#### エ) 利用者への配慮

外国人利用者が円滑に施設利用できるよう、多言語に対応した翻訳機の導入や外国語表記のインフォメーションチラシの配備を行いました。また、育児相談のしやすい環境づくりとして、来館された全ての利用者にはスタッフが笑顔をもってお出迎えするなど、積極的にコミュニケーションを取ることで、利用者が気軽に相談しやすい環境を整えました。

### 2) 利用者ニーズの把握及び実現策

#### ア) 利用者アンケートの実施

利用者の要望や意見等を的確に捉える手段として、イベント・講座終了後にアンケート用紙を配布し、利用者のリアルな声を拾うことで利用者ニーズの本質に迫り、ニーズに応えるための解決策を模索し、次に繋がる企画やサービス向上に取り組みました。

### 3) 情報の発信

こども広場のサービス案内やイベント情報のほか、知育遊具の紹介や活動報告など、こども広場がより身近な存在として、また安心・安全で居心地の良い施設として利用して頂けるよう、魅力的で鮮度ある情報を発信し続けました。

#### ア) チラシの発行・配置

こども広場で開催されるイベント情報を掲載したチラシを毎月発行し館内に掲示したほか、市役所や親子が集う市内の公共施設などにも配架・掲示をし、こども広場の誘致活動に積極的に取り組みました。

#### イ) イベントカレンダーの作成

こども広場で開催されるイベント情報を月ごとに編成し、利用者にとって見やすくわかりやすいイベントカレンダーを館内掲示やホームページに閲覧し、魅力あるこども広場のイベント情報を広く周知させたことで、新規利用者獲得に努めました。

#### ウ) ホームページの充実

こども広場のイベント情報や活動報告など、最新の情報をタイムリーに且つわかりやすく発信したことで、こども広場の魅力ある情報を広く周知させることができました。

#### エ) フェイスブックなどを通しての情報発信

スタンダードとなりつつあるデジタルツール「フェイスブック」を積極的に取り入れ、屋内こども広場で開催するイベントの告知や開催後のイベントの様子など、ホットな情報を発信し続けたことで、リピーターの囲い込みと新規利用者獲得に取り組みました。

### ③ 事業報告

#### 1) 屋内公園事業

ちびっこ広場・げんきっこ広場では、こどもたちがのびのびとあそび育つことのできる「日常のあそび場」、そして「子育ての場」を提供し、あそびを通じてこどもの成長を支えてきました。

##### ア) 私たちが提案するあそび場

###### ○自由で充実したあそび環境を提供

こどもたちがのびのびと自由にあそび育つことができるよう、多彩な身体動作を引き出しデザイン性にも優れたあそび道具を多数導入して、創意工夫に満ちたあそび場を提供することができました。

###### ○地域コミュニティの中心となる広場の提供

地域の人々が気軽に集い、子育てに関する様々な情報を交換し合える交流の場として、こども広場が地域の人と人をつなぐ「地域コミュニティの核となる広場」としての役割を担うことができました。

###### ○親同士のコミュニケーションや情報交換を通し子育て支援の場を提供

子育てに関する講座やイベントを定期的で開催し、親同士が集まり交流できる機会を設け、集まった親同士が子育てに関する情報や意見交換が闊達にできる環境を整備し、子育てに対する不安解消や親同士の親交など子育て支援の充実に繋げることができました。

##### イ) あそび道具の選定基準

私たちが提案する遊び道具は、こどもの成長に欠かすことのできない生活のための道具であり、あそびの中でこどもが主体となって、工夫次第で様々なあそびへと発展するものこそふさわしいという考えから、あそび道具を世界中から厳選し、ちびっこ広場・げんきっこ広場に導入しました。

大きく分けて以下の4種類の遊具を選定しました。

###### ○想像力や工夫する力などを育む遊具

###### ○全身を使ってあそべる遊具(体力づくりやバランス感覚の養成)

###### ○感覚を刺激し成長発達を促す遊具

###### ○創造力を養うとともに他の利用者との交流を通じ社会性を育む遊具

##### ウ) げんきっこ広場のイベント

げんきっこ広場では、プレイリーダーが様々な魅力あるイベントを企画・開催しました。

事業名	内容
集合！いつもの広場がちょっと違う！	プレイリーダーが広場にある遊具を使って普段とは違うあそびの提案をするイベント。8月には夏休み恒例「チャレンジウィーク」と題して、場内にある遊具を使用し様々なミッションをクリアしていくゲーム式のイベントを開催。今では夏休みの人気イベントに定着。



おたんじょうかい	その月に誕生日を迎えるこどもを対象に、場内にある遊具を使って大型ケーキの作成やプレイリーダーの手作りバースデークラウン（冠）の贈呈など、みんなで盛大にお祝い。毎月最終日曜日に開催。
季節イベント	12月は「クリスマスイベント」、1月には正月恒例「ジャンボかるた大会」など、季節に合わせた親子で楽しめるイベントを開催。
クラフトイベント	親子で手軽に楽しく作れるものをテーマに、折り紙や画用紙など身近にある素材を用いて工作するクラフトイベントを開催。12月はクリスマス企画として、場内で手軽に作れるクリスマスカードを親子一緒に作成。
クリエイティブイベント	こどもが創造性を発揮しアイデアを出し合い自由に表現できることをテーマに掲げたイベント。12月にはみんなで一緒にリズムに合わせてクリスマスソングを歌う「ハッピークリスマス～音楽であそぼう～」を開催。
サプライズイベント	場内の雰囲気や利用者状況によって行う「サプライズイベント」を適宜開催。クール終了間際に、大きいカラフルな布を使った「パラバルーン」という遊びは大人気となり、今後は展開頻度を高めて実施予定。
あそんで絆	普段ご利用いただけない3歳未満のこどもや小学3年生以上のこどもを対象に、広場の遊びを体験できるイベントを毎月開催。（8月は開催無し）今ではもっともリピート率の高い大人気イベント。
団体利用 Day(要・事前打ち合わせ)	保育園や幼稚園、また地域団体などを対象に、事前予約制で団体利用ができる特別利用企画。年間5団体の利用実績。
やまとみらい間での共催イベントの開催	11月3日（木・祝）やまとみらいまつりに合わせて、「6周年お祝いクラウン」を開催。来館された全てのこどもに手作りクラウン（王冠）をプレゼント。

げんきっこ広場 年間イベント回数/参加人数

事業名	年間回数	参加人数
集合！いつもの広場がちよっと違う！	25回	1,025人
おたんじょうびかい	12回	521人
季節イベント	8回	1,503人
クラフトイベント	4回	169人
クリエイティブイベント	2回	121人
サプライズイベント	233回	5,371人
あそんで絆	29回	472人
団体利用 Day	5回	61人
やまとみらい間での共催イベントの開催	1回	110人

エ) ちびっこ広場のイベント

ちびっこ広場では、プレイリーダーや保育士がイベントを企画・開催しました。

事業名	内容
はッピーびよびよタイム	9月の敬老の日に合わせて「てがた de まごころ」を開催。こどもの手形をかたどったものを祖父母にプレゼントする9月の定番イベント。

ちびっこ広場 年間イベント回数/参加人数

事業名	年間回数	参加人数
はッピーびよびよタイム	4回	70人

## 2) 保育施設事業

### ア) 幼児預かり事業(保育室)

満 1 歳以上の未就学児童の預かり保育を行いました。シリウス館内を利用している間だけでなく、気持ちのリフレッシュや通院、自分磨きの時間作りやテレワークなど、館内以外での施設等を利用される間もお預かりし、子育て中の親たちが毎日イキイキとした生活を送りながら子育てできる環境を整えました。

○こどもが「また来たい」と思える保育室を目指します。

音楽や読み聞かせ、手作りおもちゃやシール貼りなど、こどもの興味が湧くような遊びを用意し、こどもが「また来たい」と思えるような施設を築くことができました。

○ホスピタリティ溢れるコミュニケーション

お迎え時には保育中の出来事や様子など、保護者に対して丁寧且つきめ細かな対応により「また利用したい」と安心してこどもを預けられる施設を築くことができました。

#### 【サービスの流れ】

事業計画に則り行いました。

### イ) イベント

保育士が中心となって、子育てに関する様々な講座やイベントを行いました。

事業名	内容
たんシリーズ まめたん（生後1～4ヶ月） ころたん（生後5～8ヶ月） とこたん（生後9～12ヶ月）	成長著しい乳幼児を抱える母親を対象に、手あそびやリズムあそびと月齢に合わせたあそびの提案や育児に役立つお話など、子育て支援イベントを毎月開催。貴重な情報交換の場としての役割を担いました。
からだをうごかしてあそぼう！	1歳～2歳のこどもと保護者を対象に、普段自宅では出来ないようなダイナミックな動きを伴った遊びを保育士とともに親子一緒に楽しめるイベントを開催。
保育室の利用を増やすための各種イベント <新規事業イベント> パパとママとあそぼう	父親の育児に対する興味や参加意欲を増幅させることを目的とした新規事業イベント「パパとママとあそぼう」を開催。こどもとのふれあいあそびや絵本の読み聞かせ、また参加者同士が育児に対する悩みや疑問などを話し合う時間を設け、母親とともに楽しく育児参加できるきっかけ作りを演出。

#### 幼児預かり事業 年間イベント回数/参加人数

事業名	年間回数	参加人数
まめたん～みんなのはじめておうえんします～ （生後1～4ヶ月の親子）	12回	150人
ころたん～みんなのここにおうえんします～ （生後5～8ヶ月の親子）	12回	191人
とこたん～みんなのこれからおうえんします～ （生後9～12ヶ月の親子）	12回	186人
からだをうごかしてあそぼう！	12回	142人

保育室の利用者を増やすための各種イベント	5回	85人
----------------------	----	-----

ウ) 育児相談事業(相談室)

こども広場では、すべての子育て家庭を対象に、育児に関する不安や悩みの相談をいつでも受け入れできる体制を整えました。経験豊富な保育士(有資格者)や子育て支援員など、専門的なアドバイスができる人材を確保し、子育てに不安や悩みを抱える方々に気軽に相談できる場を提供して、子育て家庭の不安や悩みの解消に努めてきました。

また、大和市が定期的に行う保健師等による健康相談、管理栄養士等による栄養相談の業務支援と、日常的に保健所や児童相談所などの行政機関と連携し、良好な関係を築くことができました。

育児相談事業の主なイベント

事業名	内容
出張版 大きくなったかな?	毎月第3土曜日に大和市立図書館主催イベント「おはなし会」終了後に、おはなしのへやにて「出張版 大きくなったかな? (乳幼児の身体測定)」を開催。
すくすく育児相談	大和市主催の育児相談会を年6回開催。育児で気になることやお子さんの食事のこと、発育や発達のことなど保健師や管理栄養士がアドバイス。

育児相談事業 年間イベント回数/参加人数

事業名	年間回数	参加人数
出張版 大きくなったかな?	12回	143人
すくすく育児相談	6回	67人

身体測定 年間実績

身体測定	男女				地域			年間回数
	男		女		市内		市外	
	男: 253名		女: 273名		市内: 407名		市外: 119名	526名
	年齢							
0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	6歳以上	
316名	94名	46名	30名	17名	11名	8名	4名	

育児相談件数 年間実績

育児相談	相談内容						
	発育	生活	健康	家庭	育児	その他	合計
	30件	25件	1件	0件	8件	6件	70件

エ) 多目的室運営事業(多目的室)

芸術文化ホール及び生涯学習センターを利用するイベントの主催者が、顧客サービスの一環として、託児付きのイベントを開催する際に、託児スペースとして部屋を貸し出し、子育て家庭が文化芸術や生涯学習活動に安心して取り組めるよう支援を行いました。また、大和市が実施する子育て支援事業に協力するほか、ものづくり教室や各種講座を企画し、こどもの創造性を高める活動や、子育て世代の親子の交流を促進する活動を行いました。

イベント内容によってはイベント参加費用を徴収しました。

事業名	内容
-----	----

親子でものづくり教室	身近な素材を用いて親子一緒になって手作り作業を行うものづくり教室を開催。共同作業によって、親子の絆やこどもの創造力を育むきっかけの場を提供。
保護者向け講座 ＜新規コラボ企画＞ マザーズコーナー出張 セミナー	ハローワーク大和とのコラボ企画「マザーズコーナー出張セミナー」を開催。仕事と育児の両立を考えている母親を対象に、両立を成功させるための準備やコツをハローワーク大和の相談員が伝授。
家庭教育	「お手伝い教室」や「お箸トレーニング」など、子どもたちが掃除や洗濯、お片付けといった身の回りのお手伝いやお箸の持ち方などを楽しく学ぶ講座を開催。
ベビーシャワー 妊婦不安解消講座	妊婦の方を対象に、看護師を招いて妊娠中の悩みや不安解消に繋がるアドバイスや、これから生まれてくるこどもの為に手作りおむつの工作など、楽しいマタニティーライフが送れるような支援講座を開催。
ママとアネシィ	子育て中の母親のリフレッシュを目的に、骨盤のゆがみやインナーマッスルを鍛える「トレーニングヨガ」やフィットネス要素を取り入れた「パワーヨガ」の2通りのヨガ系イベントを開催。今ではリピート率の高い人気イベントとして定着。
Music for Body メン テナンス	日頃の運動不足を解消することを目的に、音楽に合わせて身体のメンテナンスを行うリズム系ストレッチイベントを毎月開催。
マネー講座	親子でお金の大切さを学ぶ講座を開催。ファイナンシャルプランナーを招き、家庭内でのお金の使い方や貯め方など、お金に対する価値観や考え方を楽しく学んでいただく場を提供。年4回開催。
子どもたちに沢山の体 験、経験の機会をつく るイベント。	身体を動かすことで、こどもの感受性や創造性などを引き出すことを目的に「子どもヨガ with ママ」や「リズムミック～感性を育てる音あそび～」と親子一緒に楽しめるアクティブ系のイベントを開催。
子ども広場の利用者を 増やすための各種イベ ント	「やさしい養生気功」「太極舞」など身体を使ったイベントや、「ホット一息ちくちく手縫いタイム」と身近な素材を使って誰でも簡単に工作できる手作りイベントなど、屋内子ども広場に足を運んで頂くことを目的とした魅力満載の保護者向けイベントを開催。
やまとみらい間での共 催イベントの開催	7月の融合テーマ「大人の学び」では、利用者から身体を使ったイベントを増やして欲しいという声にお応えし、アクティブ系イベント「yoga!yoga!yoga!」と「dance!dance!dance!」をトライアル企画として開催。ズンバやラテンダンス、太極舞などタイプの違うダンスを用意。参加者からはリクエストを望む声を沢山いただき、大好評のイベントとなった。 敬老の日の融合事業「人生100年時代」の取り組みでは、「ペッタンアート～手形で伝えるありがとう～」を開催。大好きな祖父母へこどもの成長を記録した手形アートを感謝の気持ちとともにプレゼント。3世代交流の絆を深めるイベントとなった。

多目的運営事業 年間イベント回数/参加人数

事業名	年間回数	参加人数
親子でものづくり教室	48回	518人
保護者向け講座	1回	3人
家庭教育	3回	35人
ベビーシャワー妊婦不安解消講座	6回	24人
ダイヤモンド育児不安解消講座	11回	143人

ママとアネシィ	12回	64人
Music for Body メンテナンス	17回	71人
マネー講座	4回	27人
こどもたちに沢山の体験、経験の機会をつくるイベント	29回	375人
こども広場の利用者を増やすための各種イベント	44回	321人
やまとみらい間での共催イベントの開催	10回	78人

### 3) 実施体制

弊社がこれまで培ってきた保育に関するノウハウを存分に発揮し運営にあたりました。

保育室の運営管理の経験と 8,000 名を超える豊富で優秀な人材を活用した研修会を定期的で開催したことがスタッフ一人一人のスキルアップに繋がり、利用者へより良いサービスを提供することができました。また、屋内公園担当や総務担当、保育・相談担当と各担当が互いに協力し連携し合うことで、無駄なく効率的な人員体制を取ることができました。

## (5) 共通事項

### ① 連携事業の計画

やまとみらいが運営する全 7 施設が、連携事業を通じて「学び、感じ、創造する場」と「本から広がる感動を提供する場」を創出します。7 施設の委員から構成される広報・事業企画検討委員会（合同委員会）が中心となり、「融合事業」「やまとみらいまつり」「図書館城下町事業」を実施しました。

#### 1) 融合事業の実施

季節に合わせた館内装飾だけにとどまらず、各種テーマに合わせた複数施設での連携事業を実施します。

〈融合イベント〉

2ヶ月ごとにテーマを設けてイベントを企画し、広報誌でも特集を組むなど、7施設が一体となって活動しました。

期間	テーマ名
4-5月	図書館城下町事業「絵本のまち やまと おはなしにふれよう！」
6-7月	大人の学び
8-9月	人生100年時代
10-11月	やまとみらいまつり「新しいつながり・広がるみらい」
12-1月	新しい年
2-3月	備えあれば憂いなし

〈シーズンプロモーション〉

季節に合わせて館内に門松、ひな人形、クリスマスツリーなどを装飾したほか、七夕には来館者に短冊を書いていただき、複数の施設で笹飾りを設置しました。さらに、令和4年度からシリウス1階エントランスにシルクフラワーの展示を始めています。

#### 2) 「やまとみらいまつり」の実施

11月3日のシリウス開館6周年記念には、「やまとみらいまつり」を開催しました。実施内容は以下のとおりです。

〈大和のみどり ちぎり絵屏風〉

シリウス・ポラリス・渋谷学習センターの3会場で事前ワークショップを開催し、大和市の風景やゆかりのある草花をモチーフとして四曲一隻の「ちぎり絵屏風」を完成させました。市民にとってなじみ深いモチーフを描くことにより、見る人に大和への愛着を想起させるとともに、古紙を再利用したちぎり紙を使用してSDGsへの取り組みもPRできた作品となりました。完成後はシリウス、ポラリス、渋谷学習センターに巡回展示しました。

〈オープニングセレモニー〉

上記の「ちぎり絵屏風」を背景に、市内在住の津軽三味線澤田流家元・澤田勝秋氏と、和太鼓奏者・中嶋初穂氏による「津軽三味線 特別演奏」を行いました。さらに、同年8月25日にシリウスの累計来館者数が1500万人を超えた記念として、大木哲市長から1500万人目のご家族の方へ花束と記念品が贈呈されました。

〈小田急電鉄大和駅&鉄道おもちゃアーティスト ダブルコラボイベント〉

小田急電鉄大和駅とコラボレーションして、駅員の制服を着て写真撮影ができる撮影会、ロマンスカーからの展望動画視聴コーナーを設けたほか、鉄道おもちゃアーティスト「ぺたぞうでんしゃ王国」による巨大鉄道プラレールの展示も行いました。会場は親子連れ、鉄道ファンで賑わいました。

〈オリジナル缶バッジのワークショップ〉

専用の台紙に描いたぬり絵をその場で缶バッジにできるワークショップで、シリウス、ポラリス、桜丘学習センター、渋谷学習センターで開催しました。たくさんの親子連れの方々にお楽しみいただきました。

〈ちぎり絵体験ワークショップ〉

「ちぎり絵屏風」の講師による体験型ワークショップを2回開催しました。和紙をちぎって幸運のフクロウを作りました。

〈ラッキーさんのバルーンアート☆、ラッキーさんの大道芸〉

市内で活躍する大道芸人ラッキーさんによるバルーンアートのワークショップと大道芸を開催しました。バルーンアート制作の体験と、皿回しやジャグリング等の大道芸の王道を体験していただきました。

〈ビンゴ de ぼうけん! やまと〉

6施設を巡ってスタンプを貰うビンゴゲームで、11/1(火)~30(水)の期間開催しました。全てのマスを埋めた「コンプリート賞」を達成した方は22名にのぼり、やまとみらいの施設を訪れてもらうきっかけとなりました。

〈店舗連携〉

シリウス内の店舗に協力いただきました。

- ・スターバックスコーヒージャパン…まつり当日のみドリンクカップに特別メッ

セージ

・エプロント…まつり当日のみパスタ全品をワンコイン（500円）で提供

〈総括〉

7施設が連携し、かつ大人も子どもも楽しめる内容となりました。市民の方々からの事前の期待度も高く、特に津軽三味線の特別演奏、プラレール展示には多くの来場者の方々が来場し、これまでにない盛況ぶりとなりました。

〈イベント別 参加者数〉

イベント名	会場	参加者（来場者）数
大和のみどり ちぎり絵屏風	シリウス・ポラリス・渋谷学習センター	のべ48名
オープニングセレモニー	メインホール	596名
小田急電鉄大和駅&鉄道おもちゃアーティストダブルコラボイベント	メインホールホワイエ	340名 ※鉄道おもちゃ見学のみの方は除く
オリジナル缶バッジのワークショップ	シリウス メインホールホワイエ	215名
	ポラリス	123名
	桜丘学習センター	17名
	渋谷学習センター	28名
ちぎり絵体験ワークショップ	マルチスペース	52名
ラッキーさんのバルーンアート☆	マルチスペース	14組 33名
ラッキーさんの大道芸	シリウス前プロムナード	約90名
ビンゴでdeぼうけん! やまと	つきみ野学習センターを除く6施設	257名
全イベント参加者：のべ約1,542名(事前ワークショップ含む/ビンゴ除く)		

### 3) 「図書館城下町事業」の実施

4月から5月にかけてある「こどもの読書週間」に合わせ、5月8日にギャラリーで図書館城下町事業「絵本のまち やまと おはなしにふれよう!」を開催しました。

市内出身の二つ目落語家・柳家あお馬氏による落語会は、落語絵本を題材とした演目で、前座はこども広場のスタッフによるオリジナル紙芝居の読み聞かせを行いました。場内に貸出可能な絵本を展示し、子ども用の机と椅子を設置して親子で読めるスペースを用意したほか、普段は書庫に保管されている「しかけ絵本」の展示、カードに書かれた言葉の組み合わせでオリジナルストーリーを創作できるボードゲームを開催しました。来場者数は217名で、シリウス以外でも、中央林間図書館や渋谷図書館、地区学習センターでおはなし会を開催するなど、市内全域でおはなしにふれることができる企画となりました。

### 4) 「市民ボランティア制度（仮称）」の検討

第二期新規事業である「市民ボランティア制度」の発足に向けて、令和4年度5月にプロジェクトチームを立ち上げました。他館で実施されているボランティア制度を視察する、会議内で事例を共有するなど、積極的に情報収集を行っています。

制度構築にあたって議論を積み重ねてきた結果、令和 5 年度からスタートできる体制が整いました。

初年度は「誰でも参加しやすい活動」をテーマに掲げ、やまとみらいでの活動を通して、文化活動に対する理解や参加意欲を醸成し、無理なく楽しく活動が続けられるような仕組みを築き、市民とともに永続的に文化創造の輪を広げていくことを目指します。

## ② 情報発信に関する取り組み

定期的に、FMやまと、HIT、ハイタッチタウン、マグカルカレンダー等の市内外の関係媒体へ情報提供を行い、施設の取り組みや最新のイベント情報を発信しました。紙媒体の他にも、Facebook、InstagramなどのSNSを利用して施設の裏側やスタッフの活動を紹介するなど、デジタルツールに親和性のある層にもアプローチしました。

### 1) 情報発信の展開

#### ア) デジタルツールの拡充

〈やまとみらいポータルサイト〉

令和 5 年 4 月のリニューアルローンチに向けて、改定内容について、やまとみらい 7 施設やホームページ制作会社との協議・調整を進めました。やまとみらい 7 施設のシナジーを発揮するための基軸として、これから様々な取り組みを発信していきます。

〈シリウスホームページ〉

総合トップページのイベント紹介用スライドを改定し、閲覧者がワンクリックでイベント情報にアクセスできる環境を整えました。地区館の学習センター3館（つきみ野学習センター、桜丘学習センター、渋谷学習センター）のホームページもリニューアルし、利便性の向上を図ります。

〈やまとみらい YouTube チャンネル〉

7 施設で実施したシーズンプロモーションや、「やまとみらいまつり」等の融合イベントで制作した動画を不定期で投稿するプラットフォームとして運用します。

#### イ) 「YAMATOMIRAI」広報誌の発行

これまでシリウスの広報誌であった「YAMATOMIRAI」は、令和 3 年度から 7 館合同広報誌としてリニューアルし、年 6 回発行しています。4・5 月号では、図書館城下町事業「絵本のまち やまと おはなしにふれよう！」のイベント記事を掲載し、絵本のまちである大和市の活動を支えました。

#### ウ) 地域との連携

やまとみらい連は、年間を通して定例会に参加し、連や地域の方々と密接に結びついて「大和阿波おどり」の活動を支えました。コロナの影響で「第 46 回神奈川大和阿波おどり」本大会には出場できませんでしたが、シリウスで開催され



た「ぞめき大和 2022」とともに、会場設営、消毒・検温係を担当するなど運営面でサポートし、地域の祭りを盛り上げました。

さらに、初の試みとして、FM やまと連携し出張コンサートを開催しました。JCOM にも情報提供しイベント告知を行うなど、やまとみらいの活動を積極的に PR しました。

#### エ) 視察対応

自治体、企業からの視察や新聞・雑誌・テレビといった媒体各社からの取材を積極的受け入れ、やまとみらいが管理運営する市内文化施設 7 館を紹介、大和市の魅力を伝えました。国、自治体、企業など視察は年間で 94 件ありました。

### ③ 利用者の誘致・拡大に関する取り組み

やまとみらい連携事業として、広報・事業企画検討委員会にて各種イベントを実施しました。コロナが収束しつつある中でも、安全面を考慮しながら利用者を楽しんでもらえるよう工夫をし、ファン獲得のための活動を展開しました。

#### 1) 館内ツアーの開催

館内ツアーは、実施施設を絞って 1 時間程度に短縮し、手指消毒などの感染症対策を講じながら 2 回実施しました。

##### 〈1 回目：図書館・防災センター編〉

図書館の返却の仕組みや閉架書庫を紹介、消化ポンプ室等防災設備の見学と体験を行い、施設に対する理解を深めていただきました。

##### 〈2 回目：芸術文化ホール・屋内こども広場編〉

2 回目は、「夜の探検ツアー」として、館内を消灯した状態で探検しました。ホールでは、ホラーゲームさながらのピアノ演出と照明室での照明操作体験、屋内こども広場では、ボールプールの清掃体験と蛍光塗料を塗ったボールを探すゲームを行うなど、エンターテインメント性の高いツアーとなりました。

4 組 12 名の枠に対し 53 組 158 名が応募するなど事前の期待度も高く、さらには地元メディアの取材もあり、満足度の高いツアーとなりました。

#### 2) より多くの方に情報を届ける施策

令和 5 年度からは、リニューアルしたポータルサイトの内容の充実と広報に力を入れていきます。また、市内ではまだまだ紙媒体の広報効果が高いことをふまえ、すでに有力な広報媒体として定着している「YAMATOMIRAI」広報誌の配布範囲を拡大します。沿線の鉄道会社や自治会など、地域とさらなる連携強化を図り、より多くの方に情報を届けていきます。

### ④ 要望・苦情への対応

7 館すべてにご意見箱を設置し、来館者の皆さまから要望や苦情をいただいています。いただいたご意見は、その都度大和市の担当者と全施設の館長/所長で共有を行うとともに、月に一度開催されます「文化創造拠点等連絡調整会議」において情報交換を行っております。

ご意見箱に寄せられた意見、さらにモニタリングアンケート自由記述欄で寄せられたご意見は、該当の施設で回答を作成しホームページで公開します。公開することによりやまとみらいとしての責任の所在を明確にするとともに、直ぐにできることと時間が掛かること等の整理を行い、着実に対応を進めてまいります。

また、窓口や電話での苦情などについても、しっかりと傾聴する意識をもって丁寧な対応を行うよう努めてまいります。

・施設の維持管理に関すること（対象施設：全構成施設）

(1) 基本的な考え方

① 基本方針

- 安全・安心を支え、快適を提供します。
- 施設・設備の長寿命化とコスト軽減を両立します。

やまとみらいの基本方針 人・地域・文化を育む

施設の維持管理 基本方針

来館する市民一人ひとりの「居場所」を  
安全と安心で支え、快適を提供します

多くの方々をリピーターとしてお迎えし、また、新たな方々に来館していただくためには、安全と安心を支え続け、快適を提供し続けることが極めて重要だと私たちは認識しています。ご利用される皆さまが安心・安全・快適に過ごせるよう、持続的かつ安定的な施設管理に努めました。

行動指針

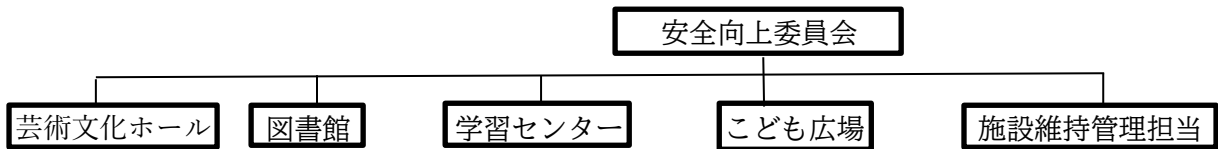
1. 市民一人ひとりの居場所の「安全と安心」を支えます
  - (1) 防災・防犯機器の予防保全による保守管理を行います
  - (2) 全7館横断の安全向上委員会の活動を継続していきます
2. 市民一人ひとりの居場所に「快適」を提供します
  - (1) 清掃業務の自主モニタリングにより品質の向上をはかります
  - (2) 予防保全で空調機器などを保守管理し安定稼働を提供します
  - (3) 正面入口での立哨警備で不審者の侵入を予防し、巡回警備で抑止力を発揮します
3. 施設・設備の長寿命化とコスト軽減を両立します

② 文化創造拠点等全7館横断の「安全向上委員会」の活動

○安全向上委員会は、全7館をカバーし、事務局はシリウスの防災センターが努め、月次に開催しました。

○安全安心を阻害する要因の把握⇒リスク要因への予防措置の策定⇒予防措置の実施⇒効果の検証等の振り返りの活動、事故、トラブルが発生した際には、事案への対応を迅速に行うとともに、原因の分析、再発防止策の検討を実施しました。

○委員会の活動を背景に防災センター職員全員が「防犯防災」の腕章を装着し、見える化を意識して施設内を巡回しています。抑止力も期待しており、「施設の利用が不相当とみられる人物（図書館条例）」を見かけたら積極的に声をかけ、館長もしくは職員と連携し迷惑行為への早期対処に努めました。



- ◎JV 全体でリスクや危険要因等を把握
- ◎JV 全体で情報共有◎事故の予防・再発防止策検討◎措置の実施
- ◎整理・整頓・清掃・清潔の4つのSの推進

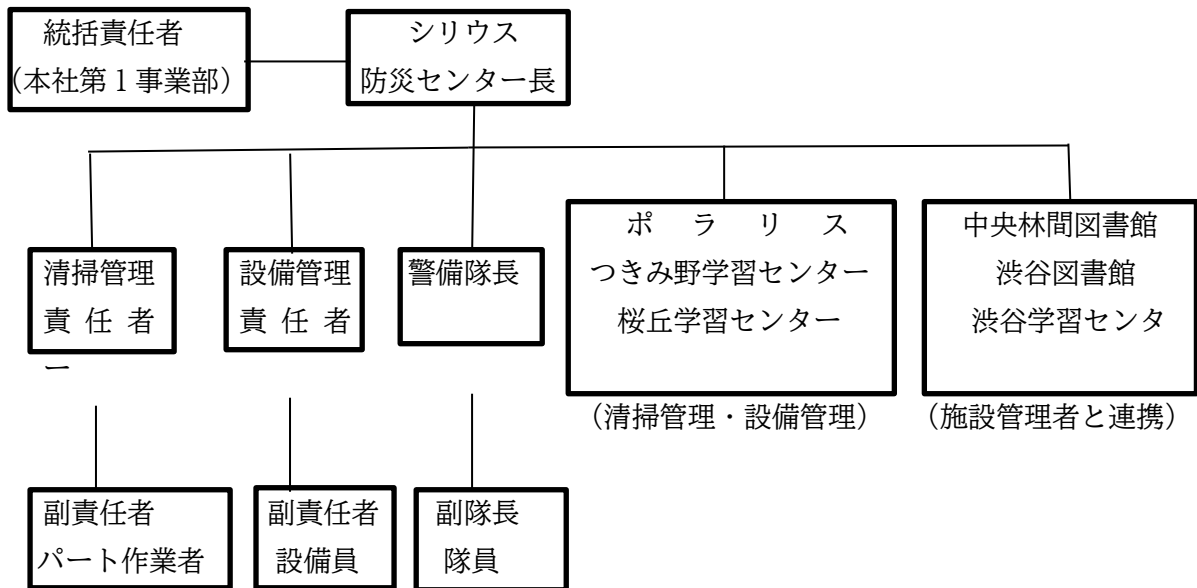
③ 電子カルテ化

- 私たちは、コストの削減と機器の長寿命化を目指し、設備機器についての電子カルテを作成し管理しました。
- 電子カルテは機器の現状、点検履歴、故障履歴、補修履歴等をデータとして記録していくことにより、過剰な精密検査や補修を避け、機器の状態に則った管理を行うことができます。管理コストの平準化を通じてコスト軽減に努めました。

(2) 実施体制及び人員体制

- シリウス防災センターを軸に全7館を一元管理しました。
- 警察OB消防OBによる安全安心特別研修を実施しました。

① 実施体制



本社の第1事業部（顧客業務グループ）が統括責任者となり、シリウス防災センターを軸に7施設の維持管理業務を運営しバックアップする責任体制としています。

第1事業部が、大和市と指定管理者代表企業構成企業等との渉外窓口並びに、防災センター業務全般と清掃管理、警備管理を担当し、設備管理部は設備管理業務を担当します。

第1事業部と設備管理部は連携して、全7施設に係るコンプライアンス遵守、安

全管理、教育研修の企画・実行、物的人的資源の調達と配置など組織品質の維持と向上に係る指導とサポートにあたりました。

私たちは特に、極めて多くの市民がシリウスへ来館している実態を踏まえて、警察署と消防署職員を講師とする教育研修を6か月毎に実施し、安全と安心を支えるための心構えとして継続的に実施しました。受講者は防災センター長、警備員、設備員とします。

また、各施設の設備関係点検はシリウス所属もしくは本社サポート所属の設備員が出向き、全体の状況をシリウス防災センターで一元管理することとし、設備管理の作業品質の向上をはかりました。

なお、中央林間図書館と渋谷図書館・学習センターではそれぞれの施設管理者と連携をとり維持管理を進めました。

#### ① 高品質清掃研修の実施

清掃品質の維持向上と他施設への横展開のため、各施設に配属する清掃員は必ずシリウスでの高品質清掃現場研修を経て配属いたします。また、自主モニタリングも実施しました。

### (3) 安全・安心の拠点に関すること

#### ① 防災センターの位置づけ

○防災センター所長は、清掃・設備・警備・駐車場・駐輪場の各業務を統括するとともに、指定管理者「やまとみらい」に横断的に組織される安全向上委員会の事務局を務め、文化創造拠点シリウス全域の安全の向上に向けて活動しました。

○あわせて、文化創造拠点等の全7館の維持管理を一元的に管轄するセンターとして機能させました。

○防災センターの業務を遂行するため、防災センター長(8:00~17:00)及び警備員(8:30~翌8:30 宿泊)、設備員(7:30~22:00)、清掃員(7:00~22:00)を配置しました。

#### ② 個別業務

○防災センターにて火災等の監視と消防設備等の制御、非常放送、監視カメラでのモニター・記録、非常ベル発報の受信等を行い、常時最低1名が常駐して、緊急時に備えました。

○防災センターは設備機器の中央監視室として空調機器等の主要設備の監視と遠隔操作を行い館内の快適さの維持に努めました。

○防災センター所属のセンター長、警備員、設備員は、防災防犯の腕章を装着するとともに、抑止力を発揮すべく「迷惑行為などが発生していないか」などを意識しながら施設内の特に来館者が多くいるエリアを巡回しました。

○大和市図書館条例等に示されている「施設の利用が不相当と認められる人物」を見かけたら、館長や職員と連携して積極的に声掛けを実施し、迷惑行為などに早期に対応しました。

○館長や職員から出動要請がある場合は、警備員だけでなくセンター長、設備員も含めて「オール防災センター」で機動的に迅速に対応しました。

### ③ 緊急時の対応

○防災センターは、常時最低1名以上が災害や事故に備えて常駐しました。

○防災センター要員は、防犯のために館内を巡回し、防災・防犯のための機器を点検して回っており、建物内で起きる緊急事態に直ちに対応できるよう備えました。

○防災センターは万一の場合は、消防や警察など公的機関の指揮所にもなりますので、日頃からセンター内にある各種機器も予防保全の観点で保守管理を行いました。

### ④ 設備業務内容

○設備機器、施設を熟知し「安全・安心を支える」ために、適切な点検を行い記録しました。

○「快適を提供する」ために適切な点検と運転で諸々の機器を安定稼働させ、電子カルテを作成し、予防保全に活用してコスト軽減と機器の長寿命化の実現に努めました。

○防災センター要員として施設全体の構造、動線、組織を熟知し、有事の際は適切に対応できるように検証しました。

○シリウス防災センター所属の設備技術者がポラリスなど各施設の点検に出向き、全体の状況を一元管理に努力しました。

#### 機器の安全管理について

安全に直結する機器の管理には特に細心の注意を払います。例えば非常用発電機は、火災や地震等の災害時に万一電力供給が絶たれた際、自動的に起動し、非常灯を点灯させ、スプリンクラーなど消防機器を動かし、来館者の避難や初期消火を可能とするもので、極めて重要な機器です。

非常用発電機は年に1度精密な点検を行います。(定期点検の年間予定参照)。また、起動テストは月に1度行います。機械が動くことをただ確認するのではなく、何のために動かねばならないのかを意識し、注意深く管理してまいります。

### ⑤ 警備配置人員

○責任者は、警備員指導教育責任者、施設警備業検定等の公的資格を有し、類似施設での業務経験を有する能力・資質の高い職員を配置しました。

○副隊長以下も責任者に準ずる職員の配置を考えて申し送りしました。

### ⑥ 警備業務内容

○多数の利用者の安全安心のためのエントランスでの立哨警備、不審者抑止と迅速対応のための館内の巡回警備、そして防災センターでの緊急事態への備えとして監視警備に常時従事しました。

○防災センター要員として施設全体の構造、動線、組織を熟知し、有事の際は適切

な対応ができようにしました。

○ボラリスなど各施設は機械警備で安全を確保しますが、有事の際はシリウス防災センターが関係部署と連携して対処できるよう調整しました。

⑦ 清掃配置人員

○責任者は、清掃指導監督責任者、ビルクリーニング技能士等の公的資格を有し、類似施設での業務経験を有する能力・資質の高い職員を配置しました。

○副責任者以下も責任者に準ずる職員を配置しました。

○ボラリスや桜丘学習センター、つきみ野学習センターに配属する職員は、高い清掃作業品質を維持しているシリウスでの現場実習を経てから正式に配属しました。

⑧ 清掃業務内容

○清掃員は、7:00～22:00の間、常駐し各施設の営業時間帯をカバーしました。

○施設を熟知し「快適を提供する」ために、利用者の視点で適切な清掃をしました。

○施設の美観と清潔度のシンボルである「トイレ」清掃には細心の注意を払いました。

○緊急の清掃要請には迅速丁寧に対応する、そのため職員は営業時間帯をカバーする時間帯で配置しました。

⑨ 駐輪場配置人員

○シリウスには駐輪場が位置する地下1階から地上に向かう通路に自転車搬送コンベアがあるので、安全管理の観点から利用が多い平日は14:00～17:00、土日祝日及び夏休みなど季節休暇期間中は11:00～14:00を追加配置しました。

⑩ 業務内容

○自転車、小型バイク入庫時にスロープの安全確認を行い、出庫時の搬送コンベアで事故が起きないように安全補助作業をしました。

○混雑時に地下1階にある駐輪場内、出入りゲートで事故が起きないように場内誘導作業をしました。

○初めての利用者や利用料減免対象の利用者に対して説明しました。

⑪ 施設の営業時間の清掃・設備・警備に関すること

○これまでの経験を活かし、警備ではシリウス正面玄関での立哨警備、清掃では夕方の巡回清掃の人員を増やし、更なる安全安心な施設を提供しました。

具体的な人員配置イメージは以下のとおりです。

		【シリウス 開館時間 8:15～22:30】																								
業務	雇用形態	配置	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00						
防災センター	センター長	社員	週5日(休暇時は副所長) 統括業務																							
	設備員	社員	催しなどに合わせて適正人数配置 設備点検業務・検針業務・設備監視業務・他施設巡回、対応																							
	警備員	社員	常時1ポスト 24H勤務 開館中は防災センターにて監視業務																							
			常時1ポスト 24H勤務 開館中は施設内外巡回警備																							
			常時1ポスト 24H勤務 開館中は正面エントランス立哨警備																							
機械警備		開館時間以外は機械警備で対応。ただし警備員は施設内で待機しています。																								
清掃	清掃責任者	社員	常時1ポスト 清掃責任者・品質管理・清掃員指導・他現場巡回																							
	清掃員	パート	催しなどに合わせて適正人数配置 オープン前清掃及び共用部清掃																							
	清掃員	パート	美観維持のために適正人数配置 巡回清掃																							
	清掃員	パート	営業に合わせて適正人数配置 こども施設等閉館後清掃																							
駐輪場	管理員	パート	常時1ポスト 駐輪場安全対策																							
	管理員	パート	土日祝日他学生休み1ポスト 駐輪場安全対策																							
		【ポラリス 開館時間 9:00～21:30】																								
業務	雇用形態	配置	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00							
設備	設備員	社員	週1回巡回(シリウスより) 日中巡回設備点検・検針業務																							
警備	機械警備		開館時間以外は機械警備で対応																							
清掃	清掃員	パート	適正人数配置 オープン前清掃及び共用部清掃																							
	清掃員	パート	常時1ポスト 巡回清掃																							
		【桜丘学習センター 開館時間 9:00～21:30】																								
業務	雇用形態	配置	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00							
設備	設備員	社員	週1回巡回(シリウスより) 日中巡回設備点検・検針業務																							
警備	機械警備		開館時間以外は機械警備で対応																							
清掃	清掃員	パート	適正人数配置 オープン前清掃及び共用部清掃																							
		【つきみ野学習センター 開館時間 9:00～21:30】																								
業務	雇用形態	配置	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00							
設備	設備員	社員	週1回巡回(シリウスより) 日中巡回設備点検・検針業務																							
警備	機械警備		開館時間以外は機械警備で対応																							
清掃	清掃員	パート	適正人数配置 オープン前清掃及び共用部清掃																							

#### (4) 安全管理及び緊急時の対応に関すること

##### ① 安全マニュアルを更新します

○いままでの経験を活かし来館者の安全と安心を支える観点から、改めてリスク要因を洗い出し、加えて新型コロナウイルスの感染予防対応など予期しなかったリスクも織り込み、「事故・トラブルの未然防止」の観点から安全マニュアルを発展的に見直しました。またポラリスなど他施設の安全マニュアルも見直しを検討しました。



建物内外の動線・床面・立面・諸設備等を「危険ではないだろうか?」という視点で、改めてリスク対応を行う PDCA のプロセスを継続してまいりました。

○安全対策にはユニバーサルデザインの考え方を重視します。当施設は、初めて利用する方、子どもや年配の方、車いすを使う方、視覚障がい者などさまざまな方が利用します。私たちは、それぞれの方の視点、動きから施設内での危険要因を把握し、移動の安全性を確保し、また、掲示物のわかり易さにも工夫をこらすなど安全対策を講じました。

○新型コロナウイルスへの対応は、経験を蓄積し引き続き実践しました。

## ② 安全向上委員会の活動を継続します

○構成企業各社が参加する安全向上委員会を毎月開催します。各社の経験に加え、他施設の情報や事例も加えて、事故の未然防止に役立てました。

○万一、事故やトラブルが発生した際には、事案への対処を直ちに行うとともに、原因の分析、再発防止策の検討し、再発防止措置を講ずる拠点としました。

○また、整理・整頓・清掃・清潔の4つのSの施設での推進役となり、各施設の職員の意識向上に努めました。

・管理に係る経費に関すること

(1) 経費縮減の取り組み

① 省エネルギー及び事務経費等省コスト化の推進

職員が省エネルギーの推進意識を持ち、気候に即した照明や空調の調整、消し忘れ防止等に努め、省エネルギー化を推進します。事務作業では、ペーパーレス化を推進し、印刷費用や通信費を縮減し、小さな積み重ねを職員で実施しました。

具体的な取り組みは以下の通りです。

照明	空調	事務室環境	紙資源
点灯時間の短縮	温度・運転時間の調整	待機電力の削減	消費量削減
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未利用空間、自動化されていないトイレの頻繁な消灯</li> <li>・開館前後の節約消灯</li> <li>・必要スペースのみの点灯</li> <li>・照明器具、管球清掃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室の冷暖房節約</li> <li>・定期的な換気(感染症対策)</li> <li>・冷暖房温度の設定</li> <li>・未利用空間の冷暖房の停止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務用パソコン未使用時のモニター画面消灯</li> <li>・コピー機の省エネモード導入</li> <li>・モニター照度の節約設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web ツールを用いた情報共有</li> <li>・Web システム上での勤怠管理推進</li> <li>・共同事業体会議等のペーパーレス化</li> </ul>

## 2. 収支決算概要

収 入	
指定管理料 (市が指定管理者に払 った金額)	1,107,382,504
利用料金収入 (条例に基づき、利用 者が指定管理者に支払 った利用料金)	112,160,875
事業収入	32,203,464
協賛金・補助金等収入 (助成金等)	3,853,782
その他収入 (駐車場利用料等)	25,218,800
/	/
収入計 (①)	1,280,819,425

支 出	
人件費 (指定管理者が雇用した 職員の給料、諸手当、福 利厚生等の金額)	781,272,017
事業費	163,864,296
事務費	55,995,881
維持管理費	248,443,844
修繕費	5,726,280
その他支出 (全館広報費)	23,211,457
支出計 (②)	1,278,513,775

収支決算 (①-②)	2,305,650
------------	-----------

### 3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する評価は、次のとおりです。

なお、評価に当たっては、指定管理者選定時の審査項目をもとに行い、令和5年8月28日に大和市文化創造拠点等運営審議会からの意見聴取を行いました。

<評価の視点1～4に基づく評価結果>

<p>評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか</p> <p>当該項目については、事業計画書どおり又はそれを上回る水準で業務が行われていることが確認できた。</p> <p>【利用者サービスに関すること】</p> <p>&lt;ホール関連サービス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・見学機会の提供等に取り組み、非常に高い施設稼働率につながっている点は特に評価できる。</li><li>・小さな子ども連れの方や、障がいがある方など、様々な背景を持つ市民に質の高い芸術鑑賞ができる環境を提供することは、公立の文化芸術ホールの重要な役割であり、指定管理者の専門性を生かした魅力的な事業が展開された点を特に評価する。先を見据えた取組として継続を期待する。</li></ul> <p>&lt;図書館関連サービス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新規事業の展開や電子図書館の拡充などに当たり、事業者としてこれまでの経験を十分に生かして取り組んでいることが確認できた。また、民間事業者との連携事業を積極的に進めるなど、民間のノウハウを生かして利用者満足度の向上に努めていた点を特に評価する。</li></ul> <p>&lt;学習センター関連サービス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルス感染症が拡大する中、市民の継続的な学びへの支援としてオンライン講座やサテライト受講を拡大するなど、期待される以上の新たな取組が行われていた点を特に評価する。また、殺風景になりがちなロビーを市民の集う場とする取組や、イベントへの高校生参加など、常に新しい取組がなされていたことが確認できた。</li></ul> <p>&lt;屋内こども広場関連サービス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・子育て世帯に向けた魅力あるイベントを多数実施することにより、施設利用者数の増加を図っている点を特に評価する。また、父親に対して育児参加への意欲を向上させる取組など、社会情勢を捉えた子育て支援を行ったことについても同様に評価する。なお、育児相談件数が減少傾向にあることを踏まえ、世帯状況に応じた子育て支援の取組を期待するとともに、子育て世帯が抱える潜在ニーズを汲み取るため、ホームページの充実等、情報発信の方法について見直しが必要と考える。</li></ul> <p>&lt;共通事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・情報発信について、以前より充実し分かりやすくなっている。今後、情報発信の方法を工夫することでより多くの市民に必要な情報を届けられるよう期待する。</li></ul>
<p>評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか</p> <p>当該項目については、事業計画書どおり又はそれを上回る水準で業務が行われていることが確認できた。</p> <p>【組織運営に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・指定管理者やまともみらいの行動指針の一つである「地域のつながりを強化」の具現化を目指すとともに、大和市の重要施策である読書環境の充実を推進するためスローガンを掲げ、各施</li></ul>

設の垣根を越えた一体的な運営に積極的に取り組んでいる点は特に評価できる。

【利用者サービスに関すること】

＜ホール関連サービス＞

・市民参加型事業の実施に関して、友の会会員数が順調に増加している点を評価する。今後、相互交流や更に主体的にホール運営に関わることができる仕組みづくりに期待する。

＜図書館関連サービス＞

・指定管理期間中の協定変更柔軟に対応し、仕様書に基づいた業務を適切に実施していたことが確認できた。また、民間事業者等との連携事業については、鉄道会社との連携を進めるなど、事業計画書を上回る水準で取り組んでいることを特に評価する。

＜共通事項＞

・連携事業について、各施設の特徴を生かし、参加者とともに作り上げる企画・催しを定期的開催していることが確認でき、企画立案、実現に向けた一体的な取組について特に評価する。

・「市民ボランティア制度（仮称）」の検討について、新規事業を試みる姿勢を評価するとともに、市民の手で公共施設を支える一つの方法として、今後の発展に期待する。

・その他の連携事業として、季節毎の館内装飾では、季節感のある演出が居心地の良い空間づくりに貢献しており、今後も継続するよう希望する。

評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか

当該項目については、事業計画書どおりの水準で業務が行われていることが確認できた。

【施設の維持管理に関すること】

・各施設適切に点検等が行われ、運営に差しさわりのあるトラブルが出ていないことは評価できる。しかし、予防的修繕の観点に立った計画的な修理に取り組むことについて、各施設において毎年収支予算に計上される修繕費を踏まえ、要修繕箇所を早期に発見し、必要に応じてやまとみらい構成企業内で速やかに情報共有を図り、比較的状况が軽微なうちからの計画的な対応を要請する。

評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

当該項目については、事業計画書どおりの水準で業務が行われていることが確認できた。

【運営組織に関すること】

・来館者アンケートや覆面調査によりサービス診断を実施し、自ら課題抽出を積極的に行っている。診断結果を踏まえ、研修プログラムの作成やクレドの改定などを実施するなど、課題改善に向けて職員の育成等に継続的に取り組んでいた点は評価できる。なお、専門的な知識向上のため、今後の研修に期待する。

・アンケート結果の集計・分析方法を工夫することにより、様々な課題解決のために当該結果を一層活用することを期待する。

【経費に関すること】

・節電など社会情勢に応じた経費縮減への取組を適宜実施していたことは評価できる。